SWNPV15

EPSON
EXCEED YOUR VISION

Offirio SynergyWare

認証プロキシ for MFP

設定ガイド

本書は、Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP の概要とセットアップ手順を説明しています。
必要に応じてお読みいただき、お役立てください。

NPD3201-00
© セイコーエプソン株式会社　2008

マークの意味

！重要	制限事項や本製品を正常に機能させるために守っていただきたいことを示しています。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows NT® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows NT」「Windows 98」「Windows 2000」「Windows Me」「Windows XP」「Windows Server 2003」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

商標

Windows

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel

Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。

Java

Copyright 2007, Sun Microsystems. Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.
This product includes code licensed from RSA Security, Inc.
Some portions licensed from IBM are available at http://oss.software.ibm.com/icu4j/.
Java および Java 関連の商標およびロゴは、米国 Sun Microsystems. Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Info-ZIP copyright and license

This is version 2005-Feb-10 of the Info-ZIP copyright and license. The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely.

Copyright © 1990-2005 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
- Redistributions in binary form (compiled executables) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a selfextracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.

- Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, and dynamic, shared, or static library versions--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info- ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or of the Info-ZIP URL(s).
- Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

認証プロキシ for MFP とは 5
動作環境 ... 6
セットアップの流れ 9
管理者側のセットアップ 10
セットアップの準備 ... 10
認証プロキシ for MFP のインストール ... 10
Windows XP SP2/
Windows Vista 環境での注意 ... 18
ネットワーク設定 ... 18
ネットワークソフトの組み込み
（Windows 98 SE/Windows Me のみ）... 19
管理者画面へのログイン ... 21
ユーザーの登録 ... 23
ユーザー情報の設定 ... 30
共通フォルダの作成 ... 37
共通宛先の登録 ... 39
共通宛先グループの登録
（CS-9000 シリーズ）... 41
スキャンパラメータの初期設定
（CS-9000 シリーズ）... 43
ユーザー（クライアント）側のセットアップ 46
ユーザー画面へのログイン ... 46
スキャン設定（CS-9000 シリーズ）... 47
送信メール設定（CS-9000 シリーズ）... 48
フォルダ設定 ... 50
宛先設定 ... 51
宛先グループ設定（CS-9000 シリーズ）... 52
EpsonNet ScanComposer からの
ユーザー情報の移行 53
EpsonNet ScanAgent からの
ユーザー情報の移行 54
オンラインガイドの見方 57
スタートメニューから表示 ... 57
Web ブラウザから表示 ... 57
認証プロキシ for MFP のアンインストール 58

認証プロキシ for MFP とは

Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP（以降「認証プロキシ for MFP」）は、ページプリンタ複合機でユーザー認証機能を使用するためのソフトウェアです。また、スキャナでスキャンしたデータを指定のフォルダに保存する機能（ファイル機能）や、指定のメールアドレスに送信する機能（メール機能）も利用できます。

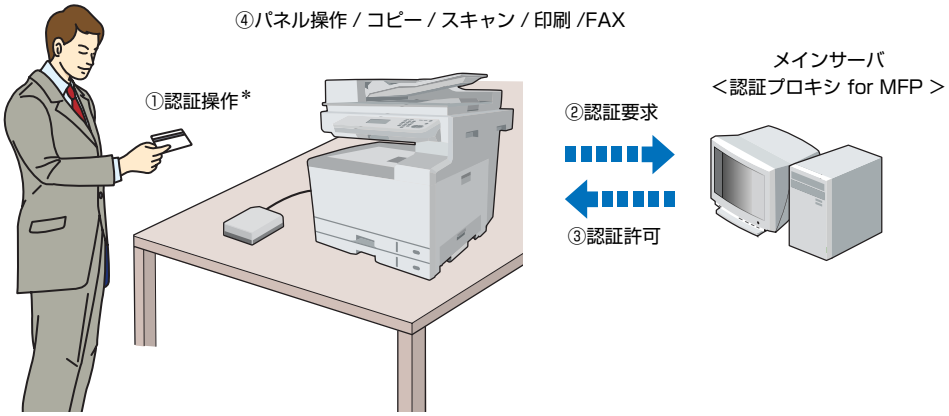
ユーザー認証機能

ユーザー認証の方法は以下の２種類あります。

- 認証プロキシ for MFP ローカル認証
  認証プロキシ for MFP に登録したアカウントで認証を行います。
- ディレクトリサーバ認証
  ディレクトリサーバに登録されているアカウント（ユーザー名）で認証を行います。
  この認証方法を利用するには、認証プロキシ for LDAP のインストールと設定が必要です。詳細は認証プロキシ for LDAP の「設定ガイド」を参照してください。

各機器では以下のような動作をします。

- LP-M6000 シリーズの場合
  カードリーダなどで認証操作を行うと、パネル操作やスキャン、印刷などができるようになります。
- CS-9000 シリーズの場合
  操作パネルにアカウントとパスワードを入力してログインすると、ファイル機能とメール機能が使用できるようになります。
  ☞ 本書 6 ページ「ユーザー設定情報管理機能」

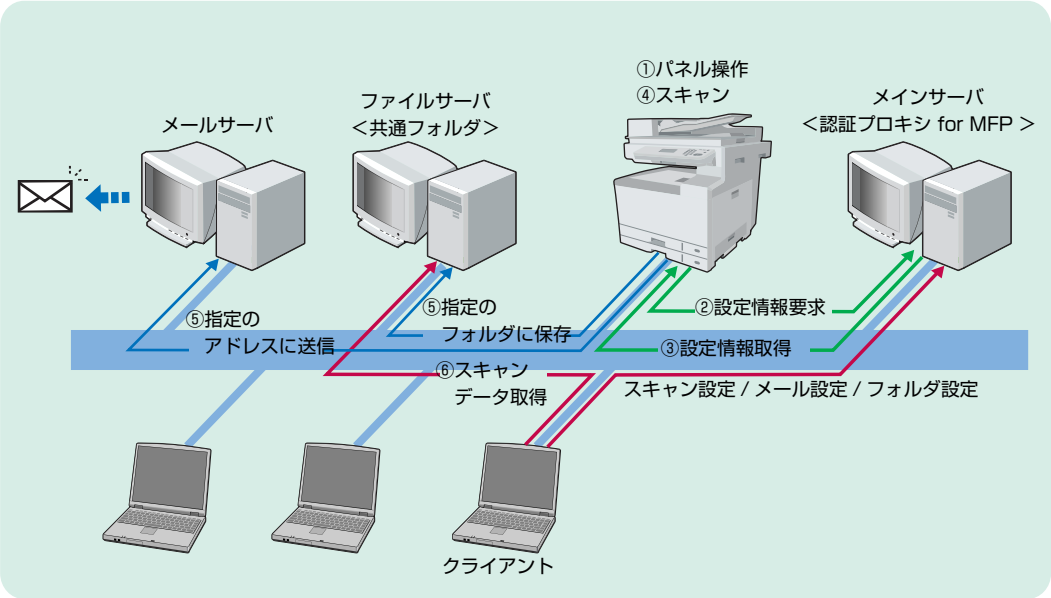


* LP-M6000 シリーズではカードリーダなどによる認証操作、
CS-9000 シリーズでは操作パネルでの入力操作を行います。

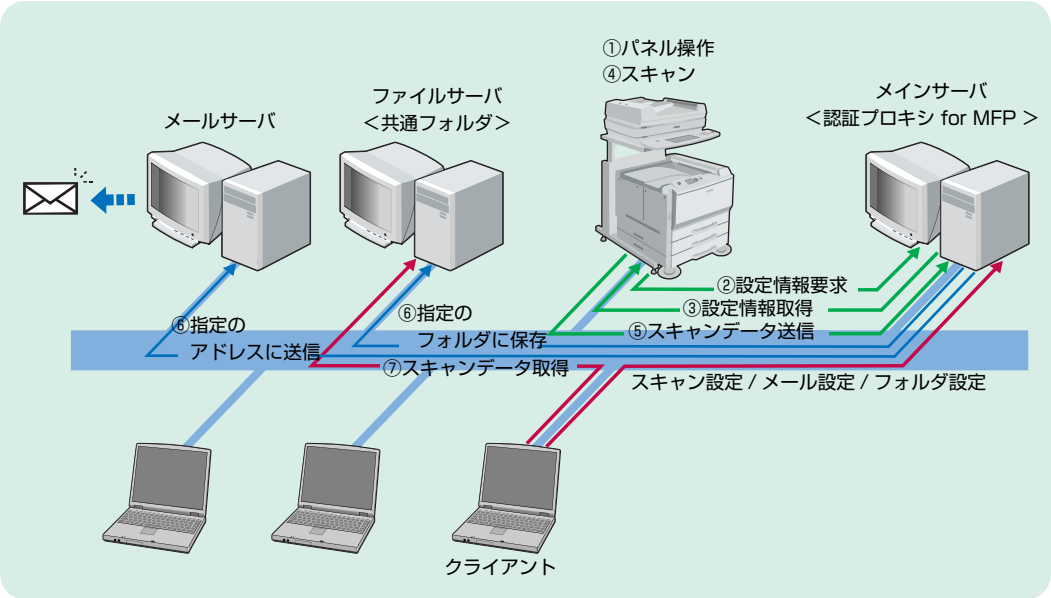
ユーザー設定情報管理機能

ネットワークスキャナでスキャンしたデータを、指定のフォルダに保存したり（ファイル機能）、指定のメールアドレスに送信したり（メール機能）できます。クライアントは、Web ブラウザから共通フォルダの作成や送信メールの宛先設定ができます。

LP-M6000 シリーズの場合



CS-9000 シリーズの場合



認証プロキシ for MFP を使用するには、以下の環境が必要です。

対応プリンタ複合機 / コピーユニット

LP-M6000 シリーズ	LP-M6000/LP-M6000A/LP-M6000F
CS-9000 シリーズ	CS-9000/CS-9200

ネットワーク

通信プロトコル	TCP/IP LP-M6000 シリーズ /CS-9000 シリーズ、メインサーバ（認証プロキシ for MFP をインストールするコンピュータ）、クライアントそれぞれに IP アドレスの設定が必要です。
ネットワーク接続	市販の LAN ケーブル（ストレートケーブル）を使用します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。
ネットワーク環境	LP-M6000 シリーズ /CS-9000 シリーズ、メインサーバ（認証プロキシ for MFP をインストールするコンピュータ）、クライアント、メールサーバ（メール機能を使う場合）、ファイルサーバ（ファイル機能を使う場合）は同一セグメント内に構成してください。セグメントを越えての使用はできません。

高解像度の画像データを取り込むと、膨大な量のデータがネットワーク上を流れます。必要に応じてスキャナを共有するコンピュータのセグメントを他のセグメントと分けるなど、スキャナの使用頻度やデータ容量に合わせたネットワーク環境にしてください。データ容量の目安の詳細は、スキャナに同梱の取扱説明書を参照してください。

メインサーバ

メインサーバは、認証プロキシ for MFP をインストールするコンピュータです。

OS	Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP4 以降） Windows 2000 Advanced Server（SP4 以降） Windows XP Home Edition（SP2 以降） Windows XP Professional（SP2 以降） Windows XP Professional x64 Edition（SP1） Windows Server 2003 Standard Edition（SP1） Windows Server 2003 Standard x64 Edition Windows Server 2003 Enterprise Edition（SP1） Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition Windows Server 2003 R2 Standard Edition（SP1） Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition（SP1） Windows Server 2003 R2 Enterprise x64 Edition Windows Vista Ultimate Windows Vista Ultimate x64 Edition Windows Vista Business Windows Vista Business x64 Edition Windows Vista Enterprise Windows Vista Enterprise x64 Edition
CPU	Pentium Ⅲ 1.0GHz 以上（Pentium Ⅳ 1.6GHz 以を推奨）
メモリ	512MB 以上（1GB 以上を推奨）
ハードディスク	500MB 以上の空き容量（1.0GB 以上を推奨）

- ターミナルサーバは動作保証外です。
- Windows XP の簡易ログインは動作保証外です。
- CPU とメモリは、各 OS の推奨動作環境以上で使用することをお勧めします。
- IP アドレスは固定アドレスを設定してください。DHCP には対応していません。
- サービス起動アカウントには、Administrator 権限を持つユーザーを設定してください。

メールサーバ(メール機能を使う場合)

サーバ環境	LAN 上の SMTP/POP サーバ ISP（インターネットサービスプロバイダ）の SMTP/POP サーバ
認証方式	• POP Before SMTP • POP Before SMTP（APOP） • SMTP 認証（PLAIN/LOGIN/CRAM-MD5/DIGEST）

- 暗号化メールには対応していません。
- 初期設定では、1 メールあたりの最大容量が 1MB に設定されています。この値を超えるメールは、画像データを別メールに分けて送信します。1 つの画像データのサイズがこの値を超えるとその画像データは送信されません（送信者に対してメールで通知します）。
  ☞ 本書 15 ページ「メール分割サイズ（MB）」

ファイルサーバ(ファイル機能を使う場合)

Microsoft ネットワークによるアクセス可能な共有フォルダが必要です。

- メインサーバのサービス起動アカウントおよびユーザー（クライアント）に対して、読み書きできる共有フォルダを作成する必要があります。
  ☞ 本書 37 ページ「共通フォルダの作成」
- Windows 98/Windows Me の場合は、Microsoft ネットワーク共有サービスを組み込む必要があります。
  ☞ 本書 19 ページ「ネットワークソフトの組み込み（Windows 98 SE/Windows Me のみ）」

参考 メインサーバとファイルサーバは同一のコンピュータにすることをお勧めします。同一のコンピュータにすると、以下のメリットがあります。
- ネットワーク構成を簡略化できるため、取り込み速度が速くなります。
- ネットワークの負担が軽くなります。

メインサーバとファイルサーバが別々のコンピュータだと、両方ともネットワークにログオンしていないとエラーになることがあります。

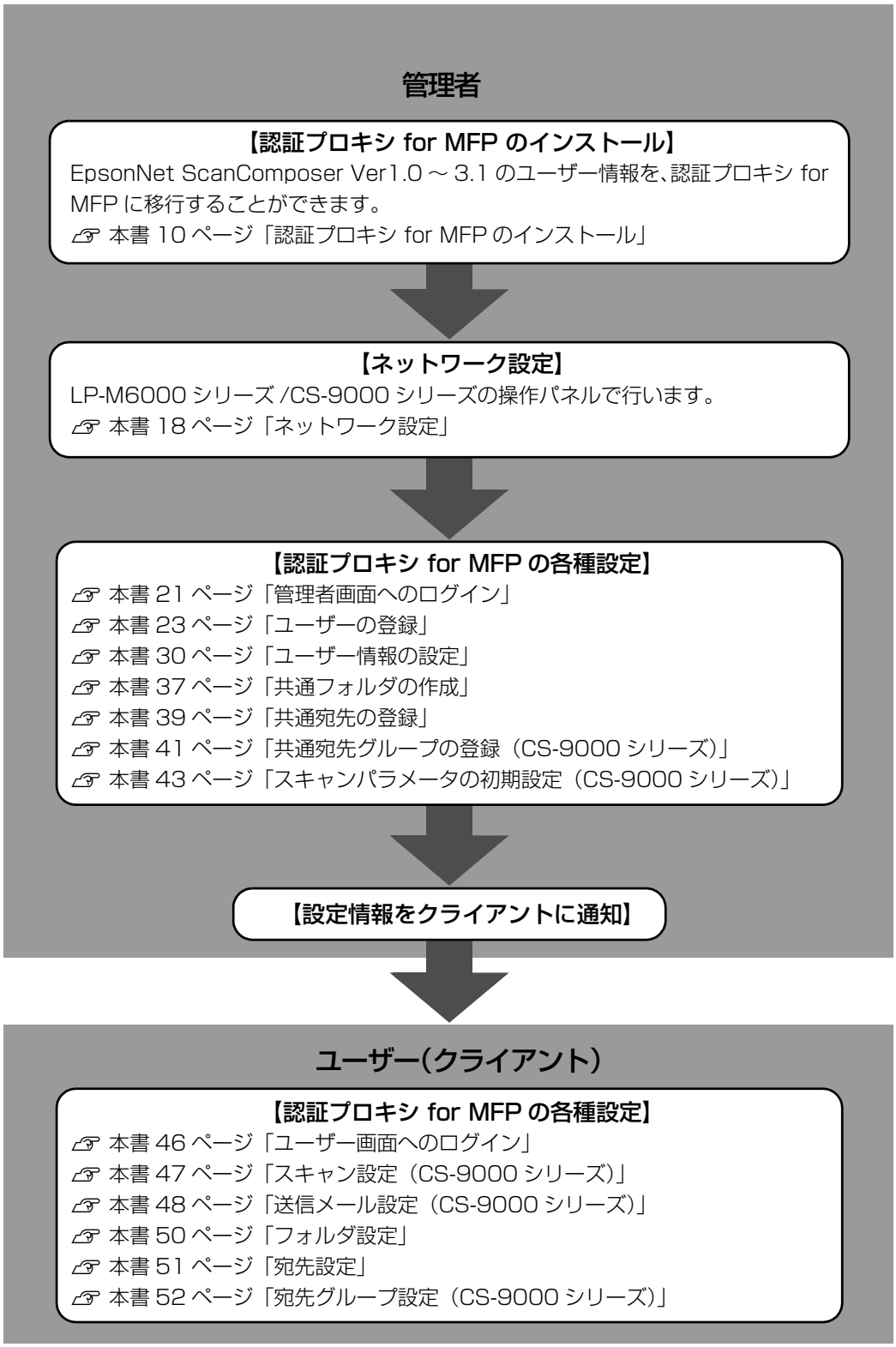
クライアント

OS	Windows NT 4.0 Workstation（SP6 以降） Windows NT 4.0 Server（SP6 以降） Windows 98 Second Edition * Windows 2000 Professional（SP4 以降） Windows 2000 Server（SP4 以降） Windows 2000 Advanced Server（SP4 以降） Windows Me * Windows XP Home Edition（SP2） Windows XP Professional（SP2） Windows XP Professional x64 Edition Windows Server 2003 Standard Edition Windows Server 2003 Standard x64 Edition Windows Server 2003 Enterprise Edition Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition Windows Vista Home Basic Windows Vista Home Basic x64 Edition Windows Vista Home Premium Windows Vista Home Premium x64 Edition Windows Vista Ultimate Windows Vista Ultimate x64 Edition Windows Vista Business Windows Vista Business x64 Edition Windows Vista Enterprise Windows Vista Enterprise x64 Edition
ブラウザ	Internet Explorer 5.5（SP2 以降） Internet Explorer 6.0（SP1 以降） Internet Explorer 7.0

* Microsoft ネットワーククライアントを組み込む必要があります。
☞ 本書 19 ページ「ネットワークソフトの組み込み（Windows 98 SE/Windows Me のみ）」

セットアップの流れ

認証プロキシ for MFP を使用するための初期設定の手順を説明します。



管理者側のセットアップ

管理者の方が下記の設定作業を行います。

セットアップの準備

以下の項目を確認して、認証プロキシ for MFP のインストールおよび設定の準備をしてください。

メインサーバの設定

認証プロキシ for MFP の管理者	管理者名	
	パスワード	
	メールアドレス	
認証プロキシ for MFP のサービス起動アカウント	ユーザー名	
	パスワード	

共通フォルダの設定(ファイル機能を使用する場合)

フォルダ名	
フォルダパス	
認証プロキシ for MFP のサービス起動アカウント	
すべてのクライアントユーザー名	

メールサーバの設定(メール機能を使用する場合)

送信メールサーバの IP アドレス	
受信メールサーバの IP アドレス	

認証プロキシ for MFP のインストール

認証プロキシ for MFP をインストールします。

認証プロキシ for MFP は、EpsonNet ScanComposer の機能を含むソフトウェアです。EpsonNet ScanComposer Ver1.0 ～ 3.1 を使用中の場合は、EpsonNet ScanComposer のユーザー情報を認証プロキシ for MFP に移行して使用することができます。ユーザー情報の移行とともに、EpsonNet ScanComposer はアンインストールされます。EpsonNet ScanComposer をアンインストールしたくない場合は、別のコンピュータに認証プロキシ for MFP をインストールしてください。

!重要 認証プロキシ for MFP がインストールされているコンピュータには、EpsonNet ScanComposer をインストールできません。また、認証プロキシ for MFP をアンインストールした後に、EpsonNet ScanComposer をインストールしても、ユーザー情報は移行できません。

参考 EpsonNet ScanAgent Ver3.x からもユーザー情報の移行ができます。認証プロキシ for MFP をインストール後、以下を参照して移行してください。
☞ 本書 54 ページ「EpsonNet ScanAgent からの ユーザー情報の移行」

1 Windows を起動してソフトウェア CD-ROM をセットします。

！重要 ソフトウェアのインストールは、Administrator 権限を持つユーザーがログオンした状態で行ってください。

インストーラが自動的に起動して、インストール画面が表示されます。自動的に起動しない場合は、Windows の［マイコンピュータ］-［CD-ROM ドライブ］の順にクリックし、［EPSetup.exe］をダブルクリックします。

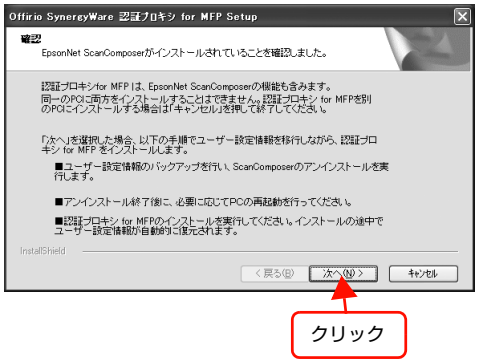
2 ［Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP］の［▶］をクリックします。

3 ［Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP のインストール］の［ ］をクリックします。

EpsonNet ScanComposer がインストールされている場合は、ScanComposer のアンインストールと、ユーザー情報の移行を案内する画面が表示されます。4 に進みます。
EpsonNet ScanComposer がインストールされていない場合は、9 に進みます。

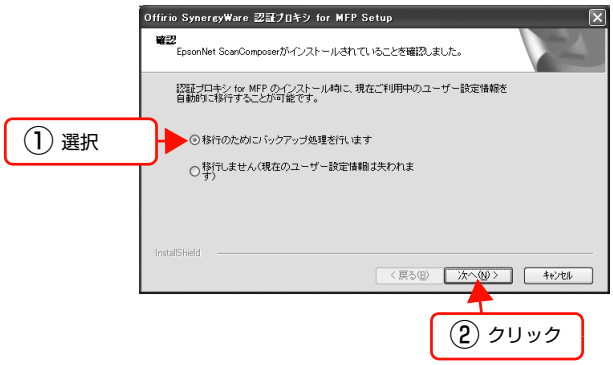
4 画面の内容を確認し、［次へ］をクリックします。

EpsonNet ScanComposer のユーザー情報を認証プロキシ for MFP に移行するとともに、EpsonNet ScanComposer をアンインストールします。
認証プロキシ for MFPを別のコンピュータにインストールする場合は、［キャンセル］をクリックして終了してください。



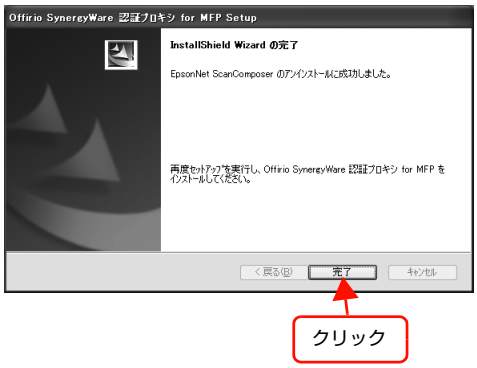
5 **［移行のためにバックアップ処理を行います］を選択して、［次へ］をクリックします。**

［移行しません（現在のユーザー設定情報は失われます）］を選択すると、ユーザー情報は移行せずに EpsonNet ScanComposer のアンインストールのみ行います。8 に進みます。



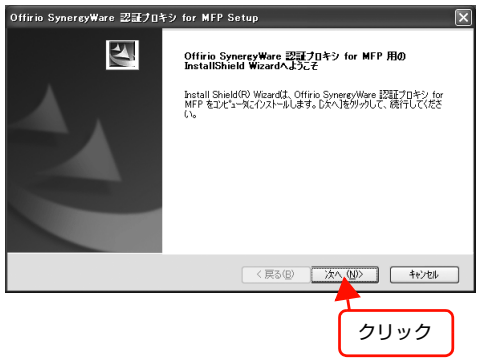
6 **以下の画面が表示されたら、［OK］をクリックします。**

7 **以下の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。**

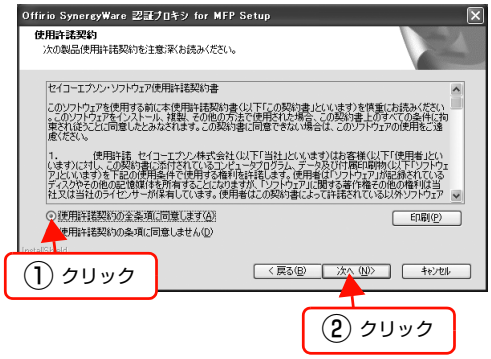


8 **［Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP のインストール］の［ ］をクリックします。**

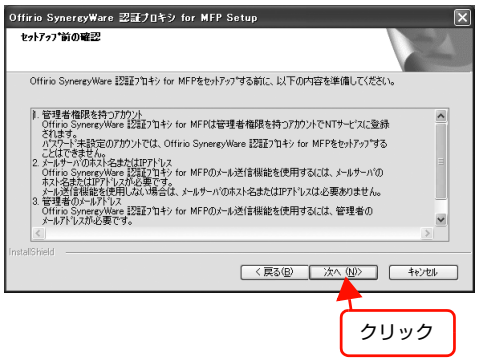
9 ［次へ］をクリックします。



10 ［使用許諾契約の全事項に合意します］をクリックして［次へ］をクリックします。

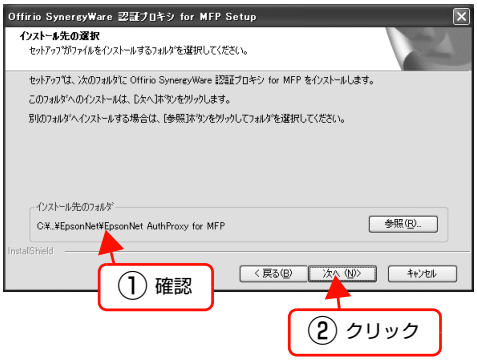


11 画面の内容を確認して［次へ］をクリックします。

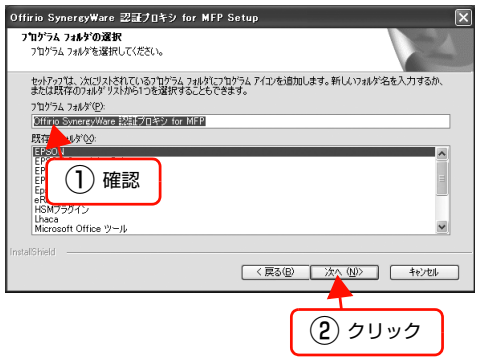


12 インストール先を確認して［次へ］をクリックします。

［参照］をクリックすると、インストール先のフォルダを変更できます。

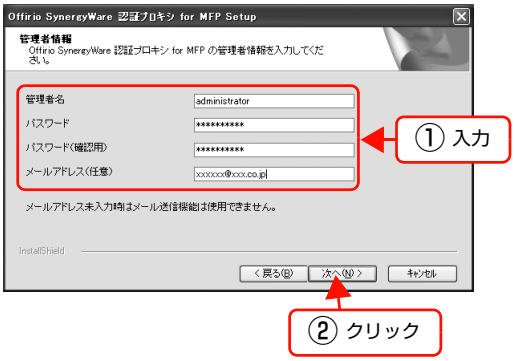


13 プログラムフォルダ名を確認して［次へ］をクリックします。



14 管理者名、パスワード、メールアドレスを入力して［次へ］をクリックします。

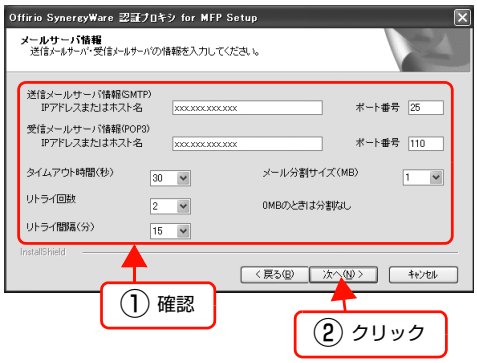
メール機能を使用しない場合は、メールアドレスの入力は必要ありません。



項目	説明
管理者名	管理者としてログインするときの管理者名（ユーザー名）になります。インストール後に変更することもできます。 半角 30 文字までの英数字を入力できます。半角カナは使用できません。
パスワード	管理者モードでログインするときのパスワードになります。確認のため、2 回入力します。 半角 20 文字までの英数字が入力できます。半角カナは使用できません。
メールアドレス（任意）	管理者のメールアドレスを入力します。 半角 255 文字まで入力できます。 CS-9000 シリーズでメール機能を使用する場合は、必ず入力してください。

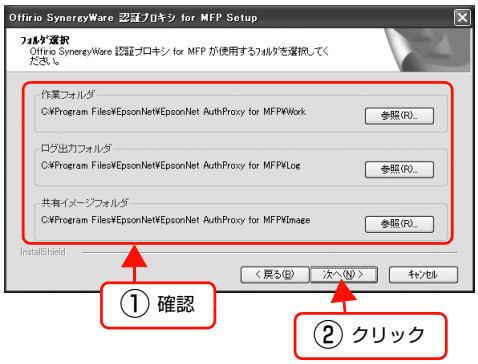
メールアドレスを入力した場合は 15 へ進みます。
メールアドレスを入力していない場合は 16 へ進みます。

15 メールサーバ情報を入力して［次へ］をクリックします。



項目	説明
送信メールサーバ情報	送信メールサーバの IP アドレスまたはホスト名、ポート番号を入力します。 • IP アドレスは、半角 15 文字まで入力できます。 • ホスト名は、半角 255 文字までの英数字が入力できます。半角カナは使用できません。 • ポート番号が未入力の場合は、初期設定値［25］が使われます。 • ポート番号に規定外の数値を指定すると、エラーメッセージが表示されます。初期設定は［25］です。
受信メールサーバ情報	受信メールサーバの IP アドレスまたはホスト名、ポート番号を入力します。 • IP アドレスは、半角 15 文字まで入力できます。 • ホスト名は、半角 255 文字までの英数字が入力できます。半角カナは使用できません。 • ポート番号が未入力の場合は、初期設定値［110］が使われます。 • ポート番号に規定外の数値を指定すると、エラーメッセージが表示されます。初期設定は［110］です。
タイムアウト時間（秒）	メールサーバとの通信タイムアウト時間を［30、60、90、120、150、180］から選択します。 初期設定は［30］です。
リトライ回数	メールサーバとの通信エラー発生後、再送受信する回数を［0、1、2、3、4、5］から選択します。 初期設定は［2］です。
リトライ間隔（分）	メールサーバとの通信エラー発生後、再送受信する間隔を［5、10、15、20、25、30］から選択します。 初期設定は［15］です。
メール分割サイズ（MB）	分割サイズとは、1 つのメールに添付できる画像データの最大サイズです。指定したサイズを超えるメールを分割して送信することができます。分割サイズは［0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10］から選択します。初期設定は［1］です。実際にはここでの設定値の 3/4 程度のサイズが最大サイズとなります。 • ［0］を選択すると、メールの分割送信は行われません。 • メールサーバで送信メールの最大サイズを指定してある場合、ここでの設定値とメールサーバでの設定値でサイズの小さい方が適用されます。 • メールのサイズが、分割サイズの値を超えたときは、画像データを別メールに分けて送信します。1 ページの画像データのサイズが分割サイズを超えると、その画像データは送信されません。

16 使用する各フォルダを確認して［次へ］をクリックします。

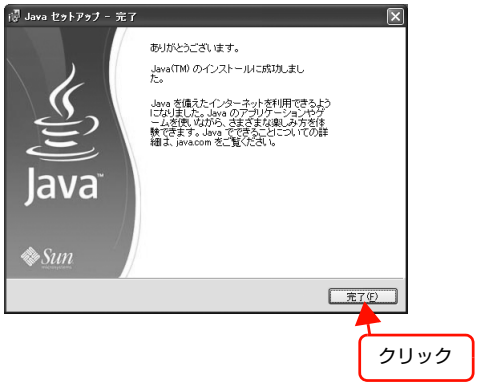


項目	説明
作業フォルダ	スキャンした画像データを一時的に保管するなど、テンポラリフォルダとして利用するフォルダです。半角 255 文字まで入力できます。初期設定は、インストールフォルダ下の Work フォルダです。
ログ出力フォルダ （CS-9000 シリーズのみ）	スキャン履歴などのログを保存するフォルダです。半角 255 文字まで入力できます。初期設定は、インストールフォルダ下の Log フォルダです。
共有イメージフォルダ （CS-9000 シリーズのみ）	ファイル機能でスキャンした画像データを保存しておく初期設定のフォルダです。初期設定は、インストールフォルダ下の Image フォルダです。

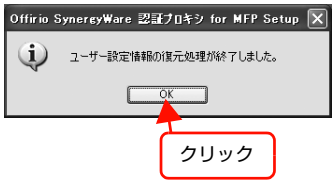
参考
- 各フォルダは、メインサーバ内のフォルダを指定してください。
- フォルダの場所は、認証プロキシ for MFP をインストールするドライブ以外も指定できます。
- 指定するフォルダは、認証プロキシ for MFP のサービス起動アカウントにアクセス権が設定されている必要があります。

17 Java がインストールされていない場合は、以下の画面が表示されますので、内容を確認してから［同意する］をクリックします。

18 ［完了］をクリックします。



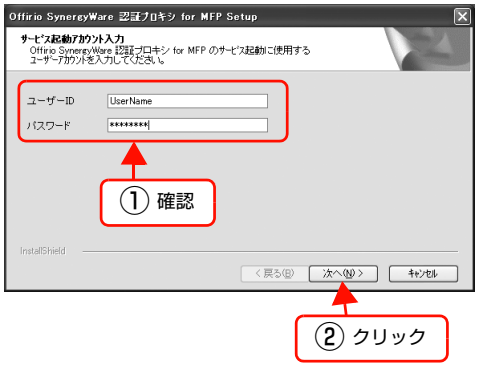
19 ユーザー情報の移行をした場合は、以下の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。



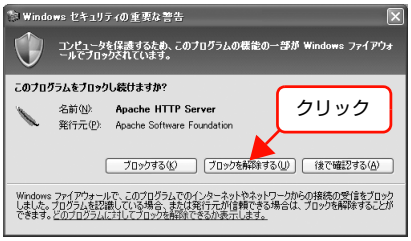
20 認証プロキシ for MFP のサービス起動に使用するユーザーID とパスワードを入力して［次へ］をクリックします。

ユーザー ID にはメインサーバにログインしているユーザー名が表示されます。

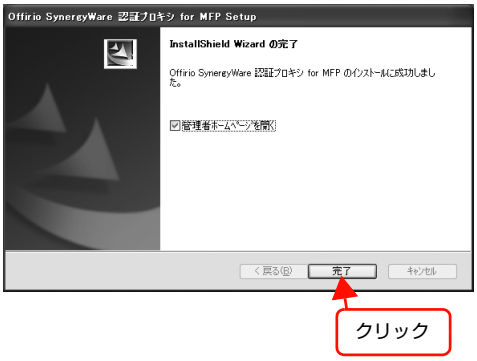
パスワードが設定されていないアカウントではサービスの登録ができません。パスワードを設定するか、パスワードが設定されている他の管理者権限のユーザー名を使用してください。



参考 以下の画面が表示されたら、発行元が「Apache HTTP Server」であることを確認して［ブロックを解除する］をクリックしてください。



21 インストール完了画面で［完了］をクリックします。

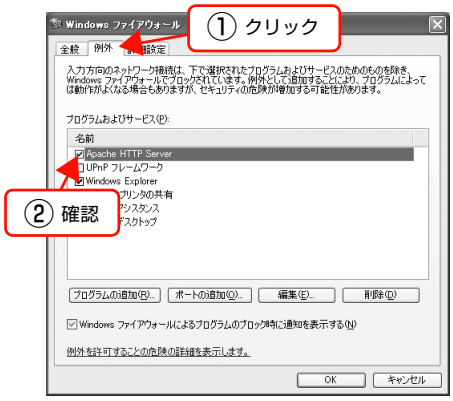


以上で終了です。

Windows XP SP2/Windows Vista 環境での注意

Windows XP SP2/Windows Vista 環境で使用するときは、以下を参照して「Apache HTTP Server」が Windows ファイアウォールの例外アプリケーションとして登録されていることを確認してください。

1. **［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**
2. **［セキュリティセンター］（Windows Vista の場合は［セキュリティ］）をクリックします。**
3. **［Windows ファイアウォール］（Windows Vista の場合は［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］）をクリックします。**
4. **［例外］タブをクリックし、［プログラムおよびサービス］に［Apache HTTP Server］が登録されチェックが付いているか確認します。**



以上で終了です。

ネットワーク設定

スキャン機能を利用するために必要なネットワークの初期設定を行います。

LP-M6000 シリーズの場合

以下を参照してネットワークの初期設定をしてください。

☞『LP-M6000 シリーズ 取扱説明書ユーザー認証編』（電子マニュアル）－「セットアップ」－「本製品のパネル設定」

CS-9000 シリーズの場合

以下を参照してネットワークの初期設定をしてください。

☞『CS-9000 取扱説明書 1 セットアップ編』（冊子）－「ネットワーク設定」
☞『CS-9200 取扱説明書 コピーステーション編』（冊子）－「ネットワーク設定」

EpsonNet ScanComposer から認証プロキシ for MFP に移行する場合は、ネットワーク設定をし直す必要はありません。次の項目に進んでください。

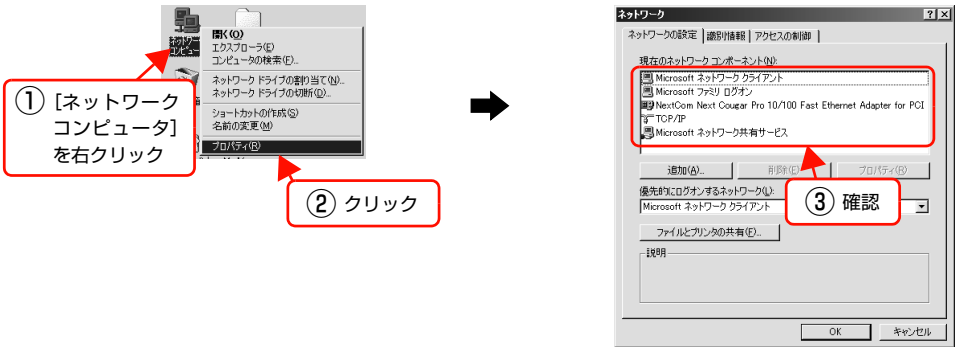
ネットワークソフトの組み込み（Windows 98 SE/Windows Me のみ）

ファイルサーバまたはクライアントの OS が Windows 98 Second Edition または Windows Me の場合は、以下のネットワークソフトを組み込む必要があります。

ファイルサーバ	ネットワーク共有サービス
クライアント	ネットワーククライアントサービス

組み込み方法は、以下を参照してください。

1 **［Microsoft ネットワーククライアント］または［Microsoft ネットワーク共有サービス］が組み込まれているか確認します。**

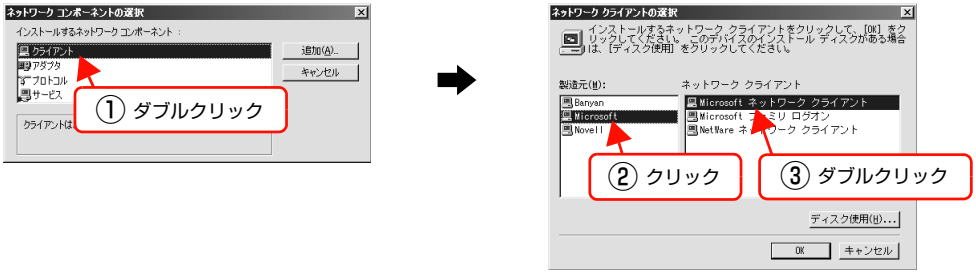


すでに組み込まれていれば設定の必要がありません。［キャンセル］をクリックし、以下のページに進んでください。
☞ 本書 23 ページ「ユーザーの登録」

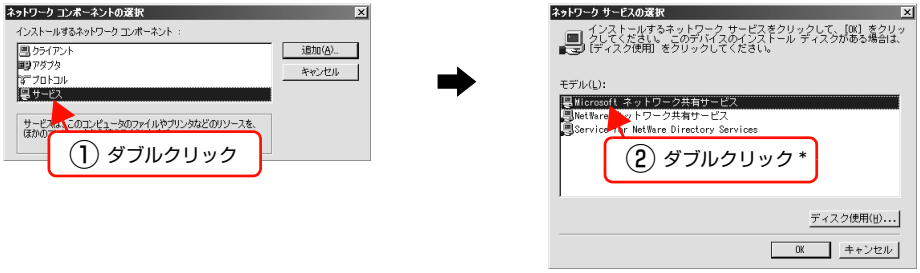
2 **［Microsoft ネットワーククライアント］または［Microsoft ネットワーク共有サービス］が組み込まれていないときは、［追加］をクリックします。**

3 **下の画面を参照し、インストールするネットワーク構成ファイル、製造元、ネットワークソフトを選択します。**

Microsoft ネットワーククライアントを組み込む場合

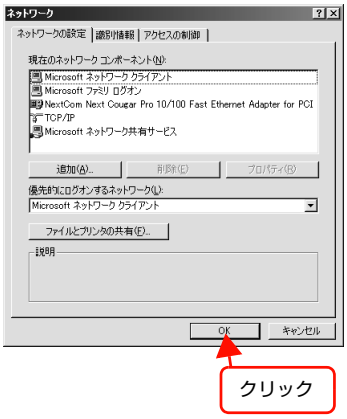


Microsoft ネットワーク共有サービスを組み込む場合



* Windows 98 では、製造元で［Microsoft］を選択し、［Microsoft ネットワーク共有サービス］をダブルクリックします。

4 ［ネットワーク］画面に戻るので、［OK］をクリックします。



5 コンピュータを再起動します。

以上で終了です。

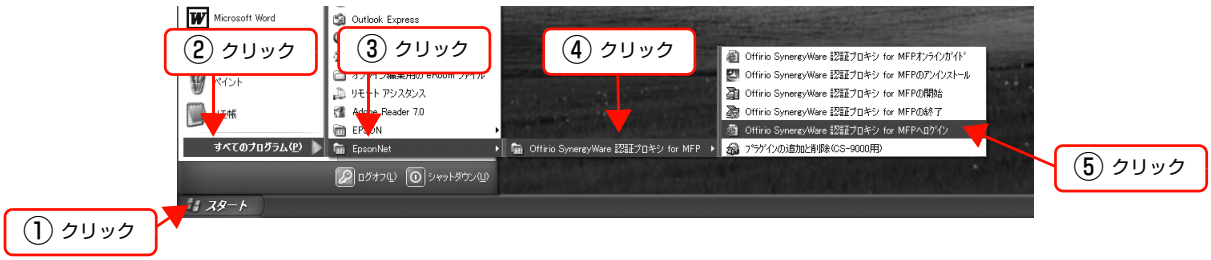
管理者画面へのログイン

管理者側の設定を行うときは、下記のいずれかの方法で管理者画面にログインしてください。

- スタートメニューから起動
  ☞ 本書 21 ページ「スタートメニューから起動」
- Web ブラウザから起動
  ☞ 本書 22 ページ「Web ブラウザから起動」

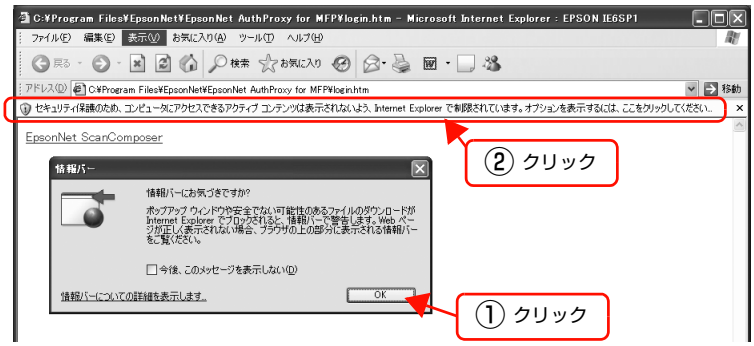
スタートメニューから起動

1 **メインサーバで、[スタート] − [プログラム]（または [すべてのプログラム]）− [EpsonNet] − [Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP] − [Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP へログイン] をクリックします。**

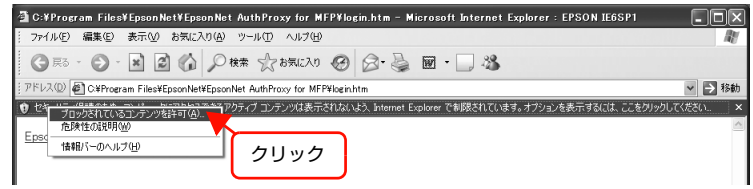


参考 インストール後初めてログインする場合は、下記の手順に従ってください。

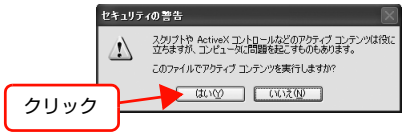
① 下記の画面で［OK］をクリックして、画面左上の情報バーをクリックします。



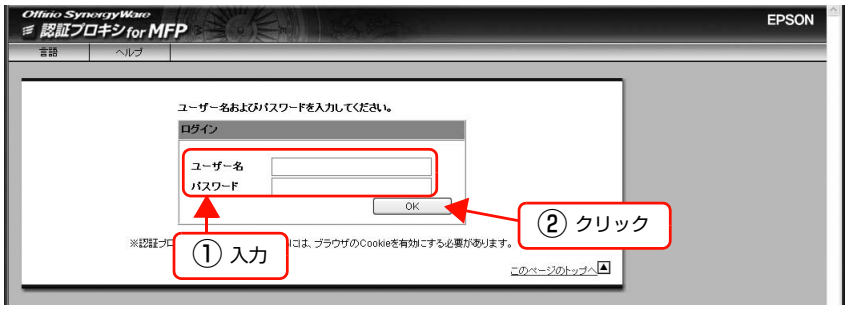
② ［ブロックされているコンテンツを許可］をクリックします。



③ セキュリティの警告画面で［はい］をクリックします。



2 **インストール時に設定したユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックします。**



以上で終了です。

続いて、認証プロキシ for MFP の各種設定をしてください。

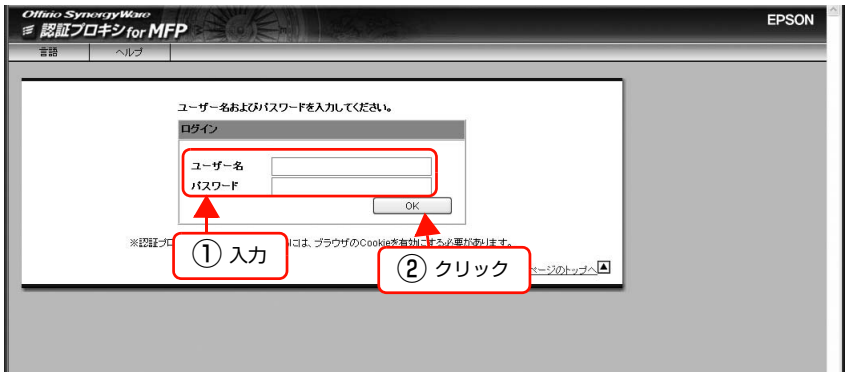
☞ 本書 23 ページ「ユーザーの登録」
☞ 本書 30 ページ「ユーザー情報の設定」
☞ 本書 37 ページ「共通フォルダの作成」
☞ 本書 39 ページ「共通宛先の登録」
☞ 本書 41 ページ「共通宛先グループの登録（CS-9000 シリーズ）」
☞ 本書 43 ページ「スキャンパラメータの初期設定（CS-9000 シリーズ）」

Web ブラウザから起動

1 **Web ブラウザを起動し、下記の URL を入力します。**

書式）http:// メインサーバの IP アドレスまたはホスト名 :2969/
例）http://192.168.xxx.xxx:2969/

2 **インストール時に設定したユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックします。**



以上で終了です。

続いて、認証プロキシ for MFP の各種設定をしてください。

☞ 本書 23 ページ「ユーザーの登録」
☞ 本書 30 ページ「ユーザー情報の設定」
☞ 本書 37 ページ「共通フォルダの作成」
☞ 本書 39 ページ「共通宛先の登録」
☞ 本書 41 ページ「共通宛先グループの登録（CS-9000 シリーズ）」
☞ 本書 43 ページ「スキャンパラメータの初期設定（CS-9000 シリーズ）」

ユーザーの登録

メール機能、ファイル機能を使うユーザー（クライアント）を登録します。

> **参考**
> - 画面上の「スキャンユーザー」を本書では「ユーザー」と呼びます。
> - 登録できるユーザー数は、認証プロキシ for MFP ローカル認証の場合は 500 件まで、ディレクトリサーバ認証の場合は 1000 件までです。

ユーザーの登録方法は、3 通りあります。

① ユーザーを 1 人ずつ登録する
☞ 本書 23 ページ「ユーザーを 1 人ずつ登録する」

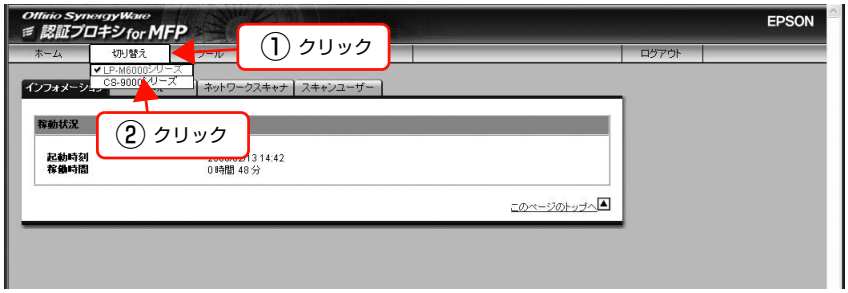
② ユーザー情報を CSV ファイルからインポートして一括登録する
☞ 本書 26 ページ「CSV ファイルから複数のユーザーを一括登録する」

③ ディレクトリサーバのユーザー情報を使用する
☞ 本書 28 ページ「ディレクトリサーバのユーザー情報を使用する」

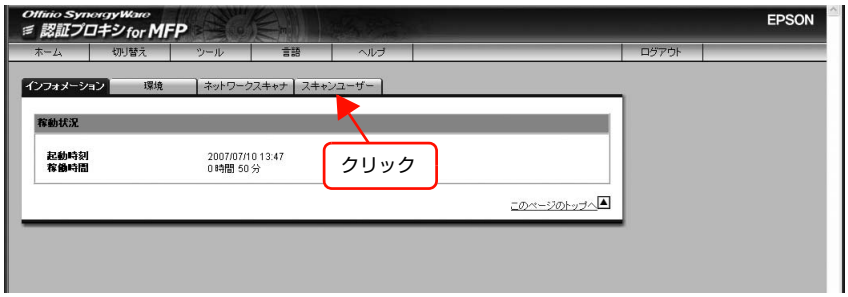
ユーザーを 1 人ずつ登録する

1 **［切り替え］－［機種名］をクリックします。**

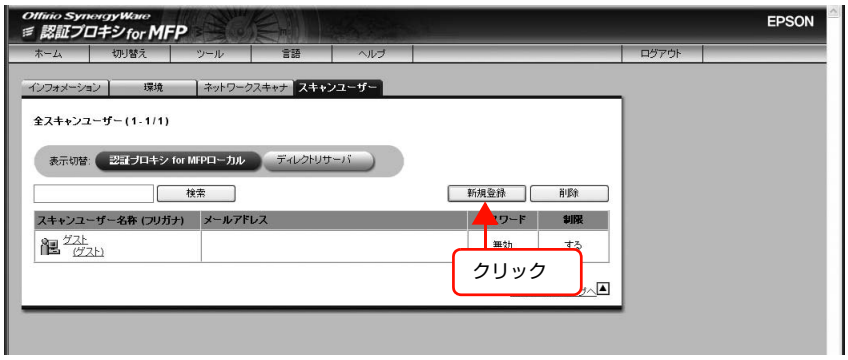
以降は LP-M6000 シリーズを例に説明します。



2 **［スキャンユーザー］をクリックします。**

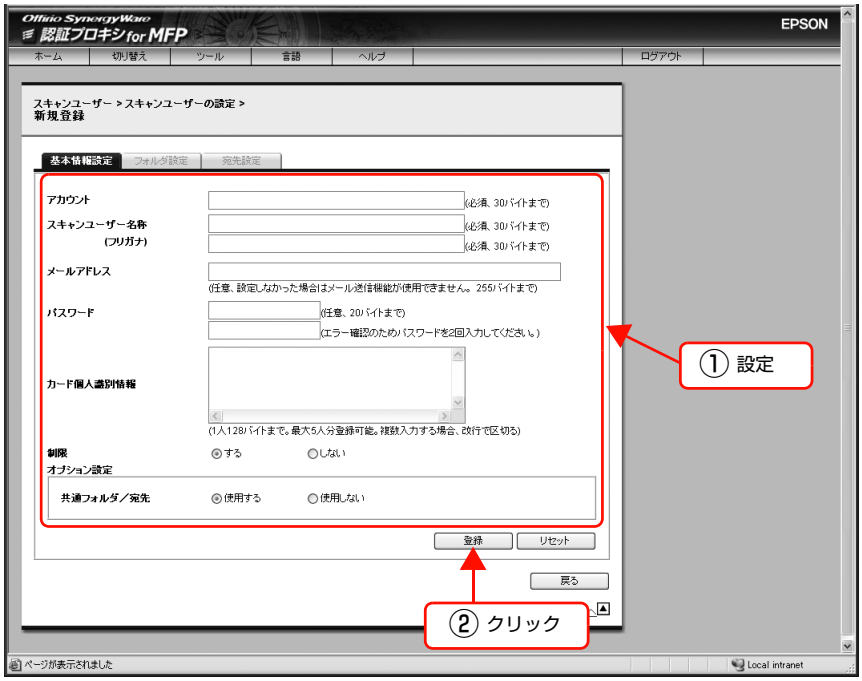


3 **［新規登録］をクリックします。**



4 各項目を設定し、［登録］をクリックします。

複数のユーザーを登録する場合は、手順 3 ～ 4 を繰り返します。



項目	説明	
アカウント	ユーザーのアカウントを入力します。 登録したアカウントは、認証プロキシ for MFP や操作パネルでログインするときのログイン名になります。 半角 30 文字までの英数字が入力できます。半角カナは使用できません。	
スキャンユーザー名称	スキャンユーザー名称を入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。	
（フリガナ）	スキャンユーザー名称のフリガナを入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。	
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスを入力します。 メール機能を使用するときのメールの送信者になります。	
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。 登録したパスワードは、認証プロキシ for MFP や CS-9000 シリーズの操作パネルにログインするときのパスワードになります。 半角 20 文字までの英数字が入力できます。半角カナは使用できません。	
カード個人識別情報（LP-M6000シリーズのみ）	認証に使用するカードなどを識別するための情報を、最大５つまで登録できます。複数の識別情報を入力するときは改行で区切ってください。識別情報１つにつき半角 128 文字（全角 64 文字）まで入力できます。シフト JIS コードの文字を使用してください。 複数のアカウントに同一の識別情報を登録すると、認証できません。 ディレクトリサーバ認証を行う場合は、入力する必要はありません。	
制限	管理者、一般ユーザー、制限ユーザーに分けてユーザー名とパスワードなどを設定し、アクセス管理します。 ここでは、登録するユーザーを制限ユーザー / 一般ユーザーのどちらにするかを選択します。初期設定は［する］です。	
	する	制限ユーザーになります。自分自身の設定やスキャン履歴などを参照のみできます。
	しない	一般ユーザーになります。自分自身の設定やスキャン履歴などを参照 / 変更できます。コピーシステムをお使いになる通常のユーザーは、一般ユーザーにすることをお勧めします。

項目	説明	
オプション設定	必要に応じて、以下の項目を設定します。	
	共通フォルダ / 宛先	共通フォルダ、共通宛先を使用するかどうかを選択します。初期設定は［使用する］です。
	メールによるスキャン完了通知（CS-9000 シリーズのみ）	スキャンが完了したことを、自分自身にメールで通知することができます。エラーが発生しスキャンを中断した場合も、ユーザーにスキャンエラー通知メールが送信されます。初期設定は［送らない］です。
	控えメール送信（CS-9000 シリーズのみ）	メール機能でメールを送信するときに、自分自身に控えのメールを送信するかどうかを選択します。操作パネルの宛先設定で、自分自身（個人アドレスまたはグループ）を宛先に含んだ場合は、控えメールは送信されません。初期設定は［送らない］です。
	JPEG 圧縮率（CS-9000 シリーズのみ）	スキャンデータ（JPEG ファイル）の圧縮率を選択します。初期設定は［中圧縮率（標準）］です。
	TIFF 圧縮形式（CS-9000 シリーズのみ）	スキャンデータ（TIFF ファイル）の圧縮形式を選択します。初期設定は［非圧縮］です。
	ファイル名候補（CS-9000 シリーズのみ）	スキャンデータのファイル名に使用したい文字列を登録します。ここで登録した定型文はLP-M6000シリーズ/LP-9000シリーズの操作パネルに表示されスキャン時にファイル名として選択できます。 半角 16 文字または全角 8 文字で 50 個まで登録できます。

以上で終了です。

CSV ファイルから複数のユーザーを一括登録する

CSV ファイルから、複数のユーザーを一括して登録することができます。1 人ずつユーザーを登録する必要がないため便利です。インポートできる項目は、スキャンユーザー設定の［基本情報設定］画面で設定する以下の項目です。

- アカウント
- スキャンユーザー名称
- フリガナ
- メールアドレス
- パスワード
- 制限（ON/OFF）
  ON：制限ユーザーになり、自分の設定やスキャン履歴の確認のみできます。
  OFF：一般ユーザーになり、自分の設定やスキャン履歴の確認 / 変更ができます。
- カード個人識別情報（LP-M6000 シリーズのみ）

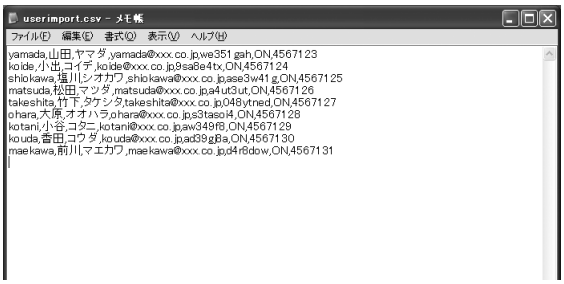
CSV ファイル作成方法

CSV ファイルは、1 行に 1 ユーザーの情報を入力します。項目間は（,）で区切ります。

書式）

アカウント , スキャンユーザー名称 , フリガナ , メールアドレス , パスワード , 制限ユーザー（ON/OFF）, カード個人識別情報

＜例＞



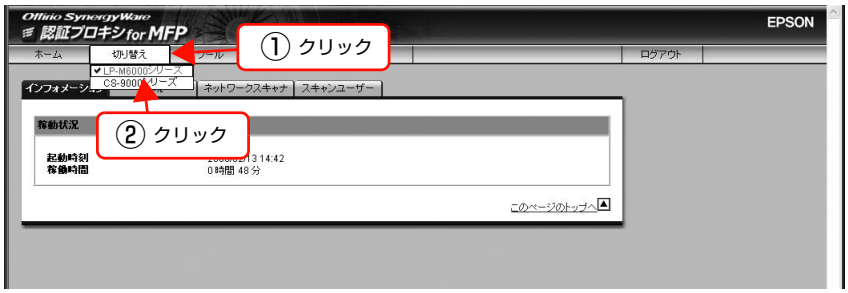
参考

- アカウントは必ず入力してください。その他の項目はカンマ（,）のみを入力して省略することができます。
- スキャンユーザー名称やフリガナを省略すると、アカウントがそのまま割り当てられます。
- アカウントが重複すると、先に入力されたユーザーのみが登録されます。
- 認証プロキシ for MFP の管理者用アカウントと同じアカウントは登録できません。

インポート方法

1 **［切り替え］－［機種名］をクリックします。**

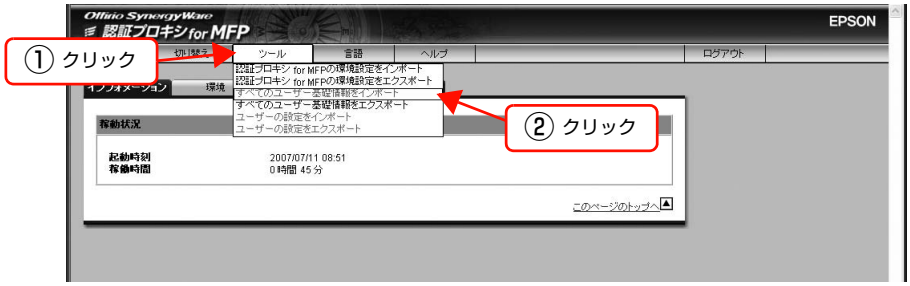
以降は LP-M6000 シリーズを例に説明します。



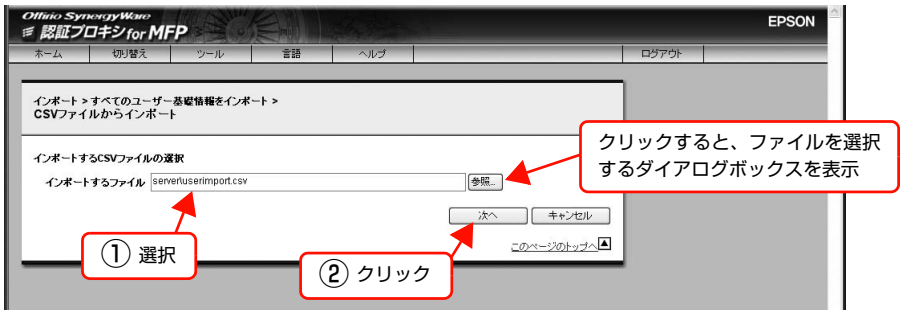
2 ［インフォメーション］、［環境］、［ネットワークスキャナ］、［スキャンユーザー］、［FAX］画面のいずれかを表示します。

＜例＞ LP-M6000 シリーズの［インフォメーション］画面

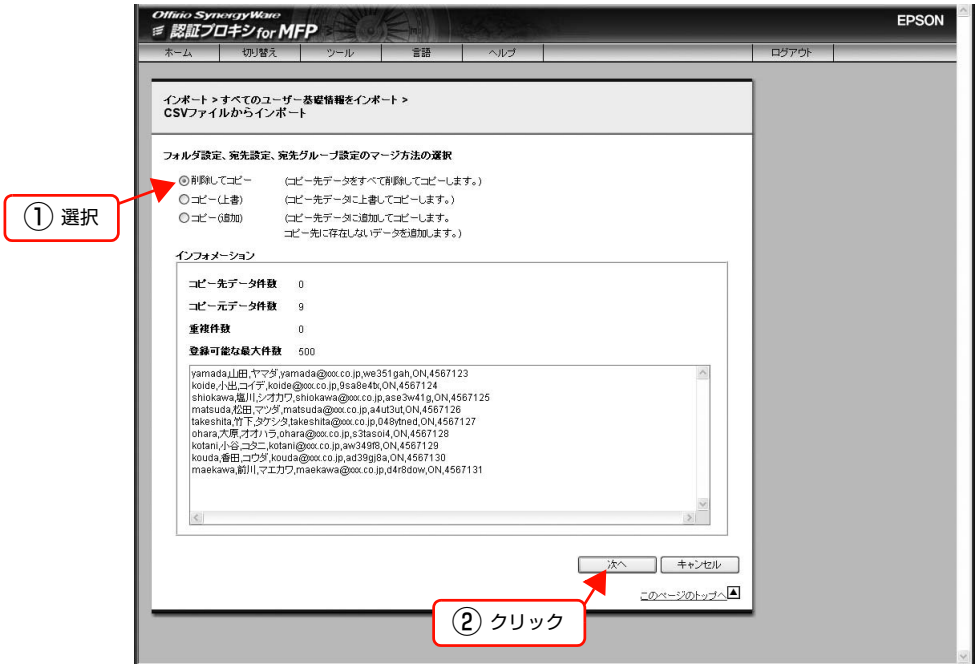
3 ［ツール］－［すべてのユーザー基礎情報をインポート］をクリックします。



4 インポートする CSV ファイルを選択して、［次へ］をクリックします。



5 登録済みユーザーとのマージ方法を選択して、［次へ］をクリックします。



参考
- マージ方法の選択では、登録済みユーザーの扱いを選択します。
- ［削除してコピー］、［コピー（上書き）］を選択すると、登録されているデータをすべて削除して、コピー、上書きが行われますので注意してください。
- 登録されているデータに新たなデータを追加するときは、［コピー（追加）］を選択してください。

6 **設定した条件を確認して、［インポート］をクリックします。**

以上でインポートは終了です。設定項目の詳細は、［ヘルプ］－［オンラインガイド］をご覧ください。

ディレクトリサーバのユーザー情報を使用する

ディレクトリサーバに登録されているユーザー情報を、認証プロキシ for MFP のユーザーとして使用します。ディレクトリサーバから取得できる情報は下記の通りです。これらは、LP-M6000 シリーズ /CS-9000 シリーズへの初回ログイン時に、自動的に認証プロキシ for MFP に登録されます。

- アカウント
- スキャンユーザー名称
- フリガナ
- メールアドレス
- フォルダ（フォルダ名称、フリガナ、フォルダパス）：フォルダ名称とフリガナは「My Folder」となります。

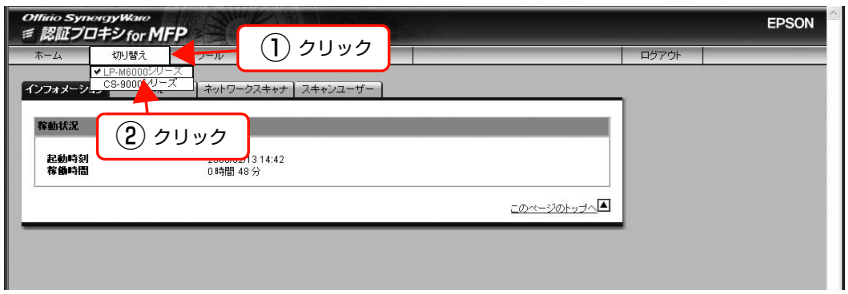
このほかのユーザー情報は、一度ログインして上記の情報が登録されてから設定してください。

☞ 本書 46 ページ「ユーザー（クライアント）側のセットアップ」

この機能を使用するには、Offirio SynergyWare 認証プロキシ for LDAP（以下「認証プロキシ for LDAP」）が必要です。はじめに、認証プロキシ for LDAP のインストールと設定をしてください。その後、認証プロキシ for MFP で下記の設定をしてください。

1 **［切り替え］―［機種名］をクリックします。**

以降は LP-M6000 シリーズを例に説明します。



2 [環境] タブをクリックして、[ユーザー認証設定] の [編集] をクリックします。

3 [ディレクトリサーバ認証を優先] を選択し、そのほかの設定をして、[OK] をクリックします。

項目		説明
ユーザー認証方法の設定	ディレクトリサーバ認証を優先	ディレクトリサーバ認証によりユーザー認証を行った後、認証プロキシ for MFP のローカル認証を行います。認証プロキシ for MFP（ローカル）とディレクトリサーバの両方に同一のユーザー名とパスワードのユーザーが存在する場合は、ディレクトリサーバユーザーとしてログインします。
認証プロキシ for LDAP 設定	IP アドレス	ディレクトリサーバを利用するために必要な情報を設定する認証プロキシ for LDAP をインストールしたサーバのIP アドレスを入力します。
	ポート番号	認証プロキシ for LDAP に接続する際に使用するポート番号を入力します。空白のまま設定したときは標準ポート番号：59230 が設定されます。
ディレクトリサーバユーザーの初期値設定	ディレクトリサーバのユーザー名で操作パネルや認証デバイスから初めてログインするとき、ユーザー種別（一般ディレクトリサーバユーザーまたは制限ディレクトリサーバユーザー）の初期設定値を選択します。	

以上で終了です。

ユーザー情報の設定

登録したユーザーの各種設定を行います。設定方法は、以下の３通りあります。

①１人ずつ設定する

☞ 本書 30 ページ「１人ずつ設定する」

②ユーザー情報を CSV ファイルからインポートして一括設定する

☞ 本書 31 ページ「CSV ファイルからユーザーの設定をインポートする」

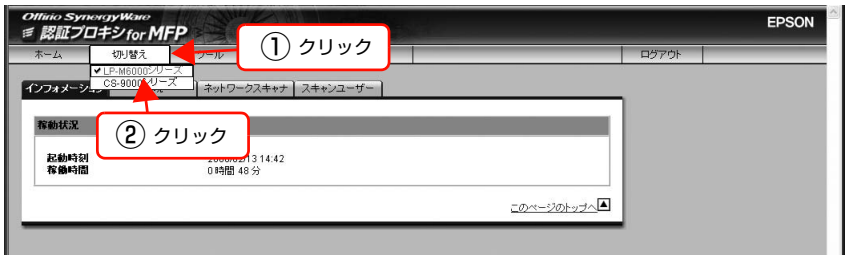
③登録済みのユーザーの設定をほかのユーザーにコピーする

☞ 本書 34 ページ「ユーザーの設定をほかのユーザーにコピーする」

１人ずつ設定する

1 **[切り替え]―[機種名] をクリックします。**

以降は LP-M6000 シリーズを例に説明します。



2 **[スキャンユーザー] をクリックして、設定するユーザーを選択します。**

3 **各ユーザーの設定画面で、必要に応じて設定をします。**

以上で終了です。

CSV ファイルからユーザーの設定をインポートする

CSV ファイルから、ユーザーごとに設定内容をインポートできます。

設定できる項目は、以下の通りです。

- ［フォルダ設定］画面の「フォルダ名称」、「フリガナ」、「フォルダパス」
- ［宛先設定］画面の「宛先名称」、「フリガナ」、「メールアドレス」
- ［宛先グループ設定］画面の「宛先グループ名称」、「フリガナ」、「メールアドレス」

CSV ファイル作成方法

CSV ファイルは、1 行に 1 つの設定項目の情報を入力します。

何の設定項目なのかを区別するために、行の先頭に必ず 1、2、3 のいずれかを入力します。設定項目の種類は、以下の通りに区別します。

1：［フォルダ設定］画面の設定項目

2：［宛先設定］画面の設定項目

3：［宛先グループ設定］画面の設定項目

項目間はカンマ（,）で区切ります。また、宛先グループ設定のメールアドレスは、コロン（;）で区切ります。

書式）

［フォルダ設定］画面の内容 *1	1, フォルダ名称 , フリガナ , フォルダパス
［宛先設定］画面の内容 *1	2, 宛先名称 , フリガナ , メールアドレス
［宛先グループ設定］画面の内容 *2	3, 宛先グループ名称 , フリガナ , メールアドレス 1; メールアドレス 2; メールアドレス 3; メールアドレス 4; ・・・・・; メールアドレス 50

*1：すべての項目を必ず入力する必要があります。

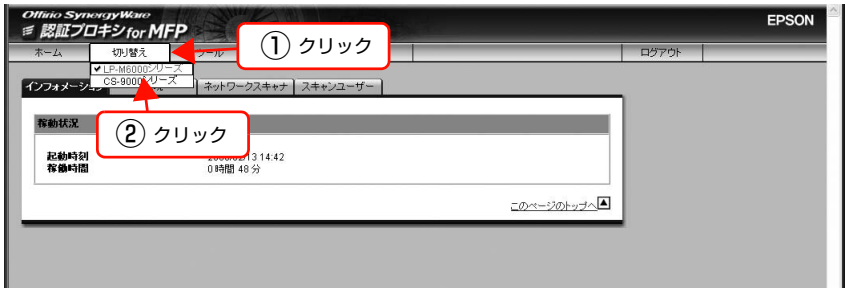
*2：50 件までメールアドレスを登録できます。

＜例＞

インポート方法

1 **［切り替え］－［機種名］をクリックします。**

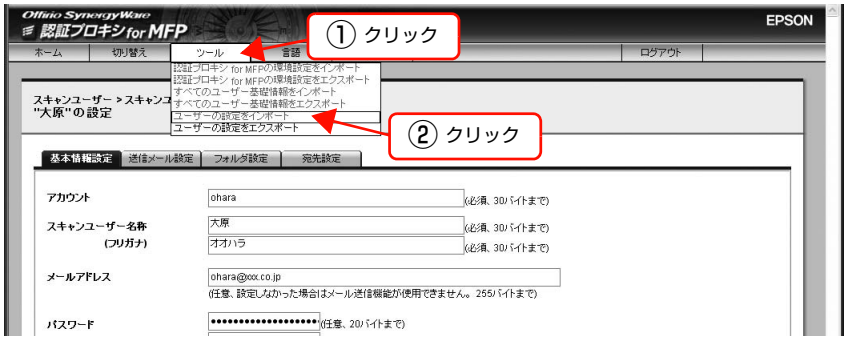
以降は LP-M6000 シリーズを例に説明します。



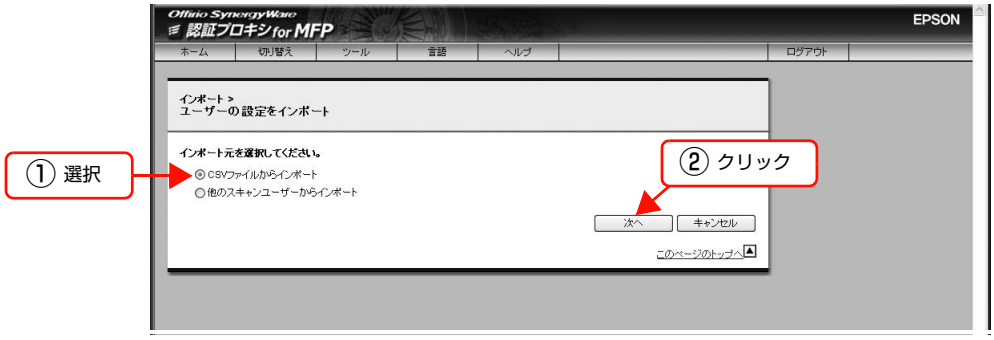
2 ［スキャンユーザー］タブをクリックして、インポート先のユーザーを選択します。

3 ［ツール］－［ユーザーの設定をインポート］をクリックします。

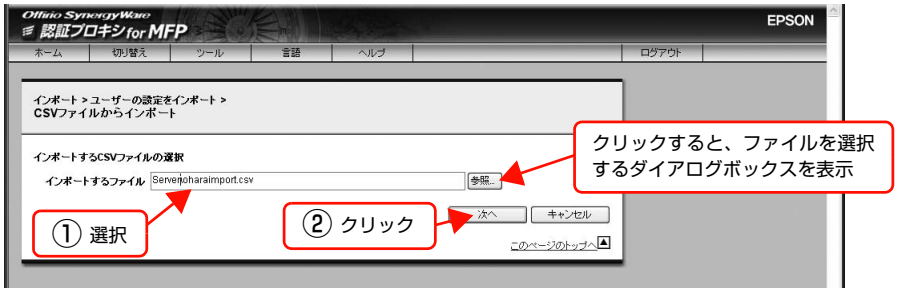
この操作は、［基本情報設定］、［スキャン設定］、［送信メール設定］、［フォルダ設定］、［宛先設定］、［宛先グループ設定］のいずれの画面でもできます。



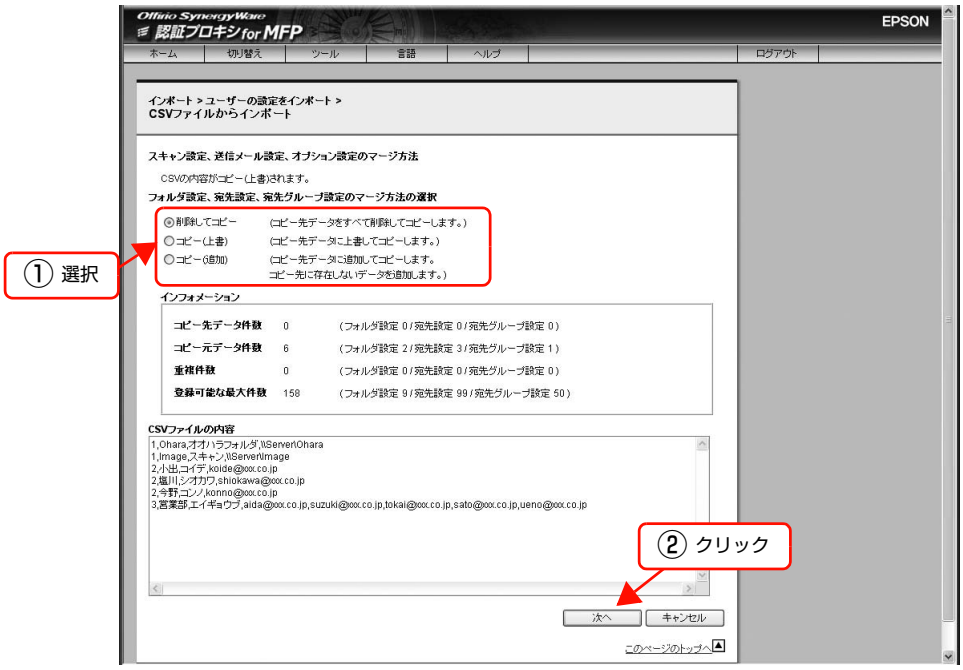
4 ［CSV ファイルからインポート］を選択して、［次へ］をクリックします。



5 インポートするファイルを選択し、［次へ］をクリックします。



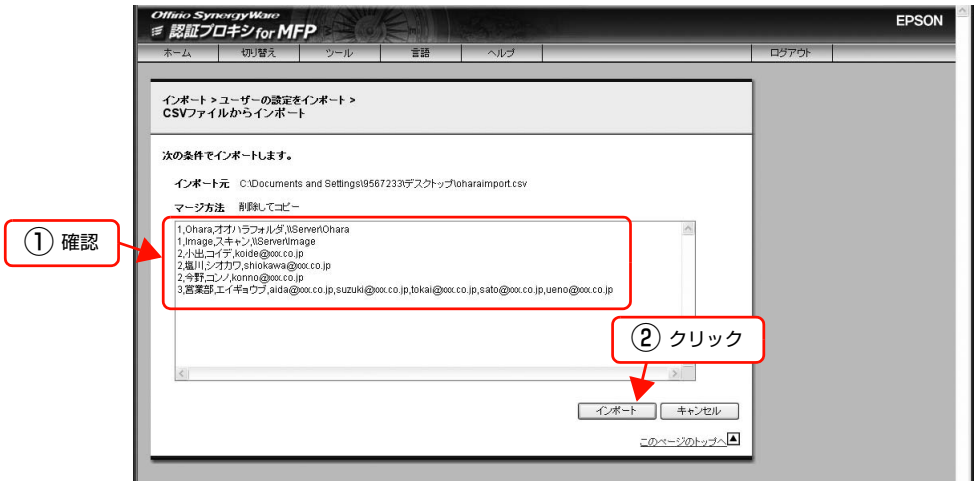
6 登録済みユーザーとのマージ方法を選択して、［次へ］をクリックします。



参考

- マージ方法の選択では、登録済みユーザーの扱いを選択します。
- ［削除してコピー］、［コピー（上書き）］を選択すると、登録されているデータをすべて削除して、コピー、上書きが行われますので注意してください。
- 登録されているデータに新たなデータを追加するときは［コピー（追加）］を選択してください。

7 設定した条件を確認して、［インポート］をクリックします。



以上でインポートは終了です。設定項目の詳細は、［ヘルプ］－［オンラインガイド］をご覧ください。

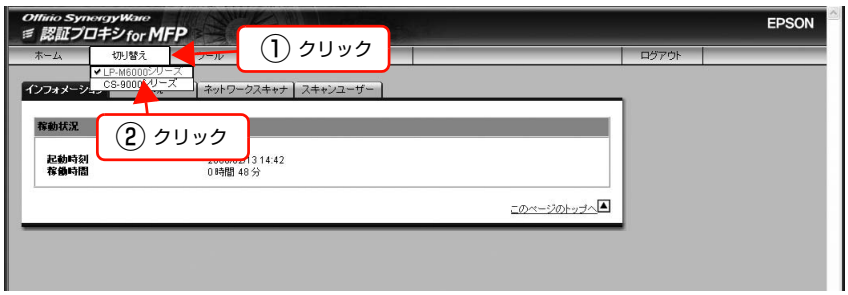
ユーザーの設定をほかのユーザーにコピーする

登録済みのユーザーの設定をほかのユーザーにコピーすることができます。あらかじめ基本となるユーザーを設定しておき、その設定をほかのユーザーにコピーするなどの使い方があります。以下の項目が設定できます。

- ［フォルダ設定］画面の「フォルダ名称」、「フリガナ」、「フォルダパス」
- ［宛先設定］画面の「宛先名称」、「フリガナ」、「メールアドレス」
- ［宛先グループ設定］画面の「宛先グループ名称」、「フリガナ」、「メールアドレス」

1 **［切り替え］－［機種名］をクリックします。**

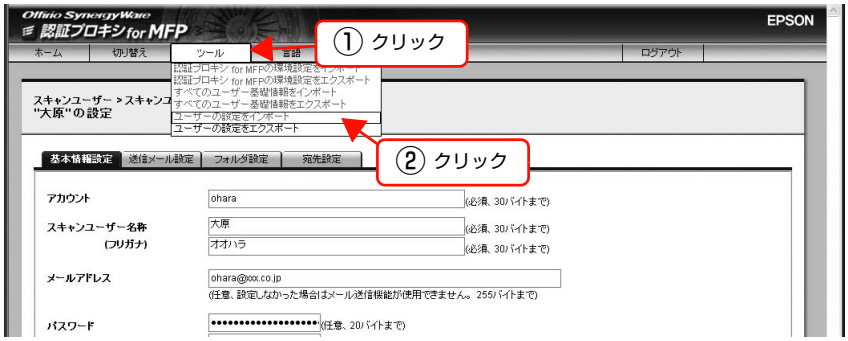
以降は LP-M6000 シリーズを例に説明します。



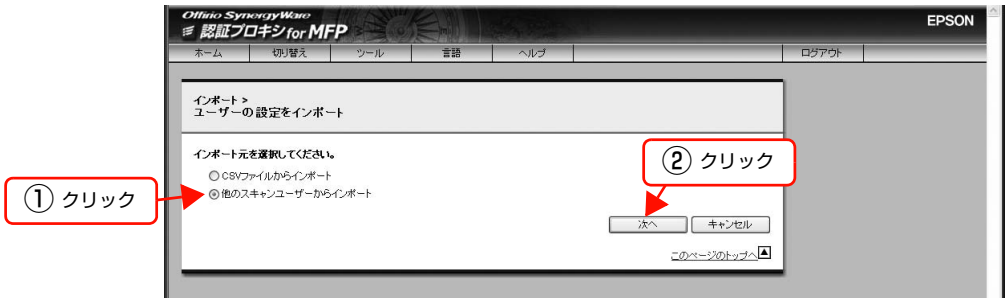
2 **［スキャンユーザー］タブをクリックして、インポート先のユーザーを選択します。**

3 **［ツール］－［ユーザーの設定をインポート］をクリックします。**

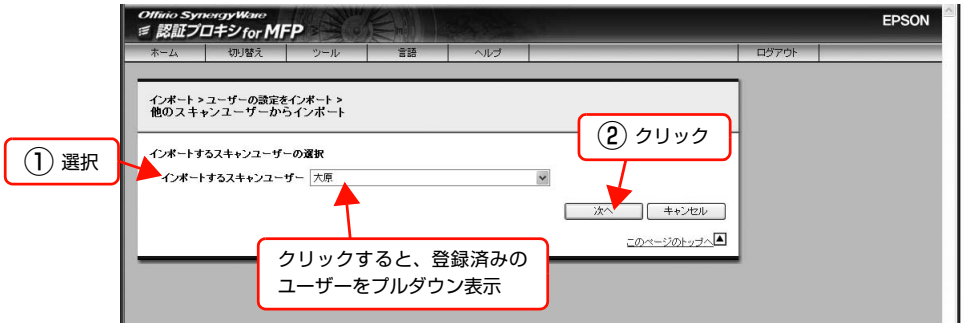
この操作は、［基本情報設定］、［スキャン設定］、［送信メール設定］、［フォルダ設定］、［宛先設定］、［宛先グループ設定］のいずれの画面でもできます。



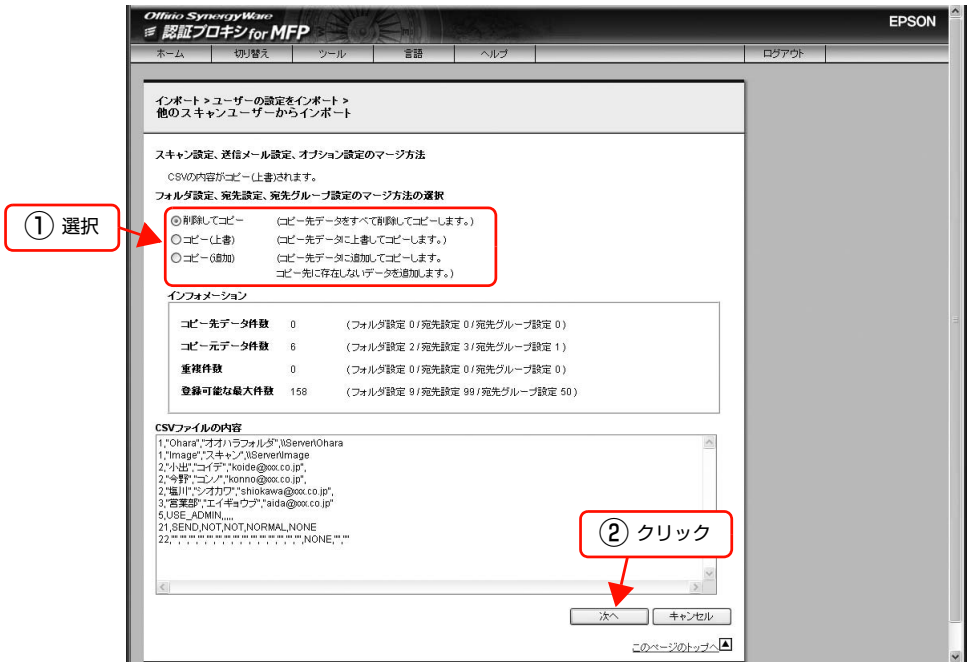
4 ［他のスキャンユーザーからインポート］を選択して、［次へ］をクリックします。



5 設定をインポートするユーザーを選択し、［次へ］をクリックします。



6 登録済みユーザーとのマージ方法を選択して、［次へ］をクリックします。



参考
- マージ方法の選択では、登録済みユーザーの扱いを選択します。
- ［削除してコピー］、［コピー（上書き）］を選択すると、登録されているデータをすべて削除して、コピー、上書きが行われますので注意してください。
- 登録されているデータに新たなデータを追加するときは、［コピー（追加）］を選択してください。

7 設定した条件を確認して、［インポート］をクリックします。

以上でインポートは終了です。設定項目の詳細は、［ヘルプ］－［オンラインガイド］をご覧ください。

共通フォルダの作成

ファイル機能を使う場合に、スキャン画像を保存するフォルダとして、「共通フォルダ」（全ユーザー用のフォルダ）と「ユーザー用フォルダ」（各ユーザー用のフォルダ）を設定します。

共通フォルダは、すべてのユーザーが利用できます。よく使うフォルダを共通フォルダとして登録しておくと、ユーザーごとに設定する必要がないため便利です。

＜共通フォルダの作成例＞

- 社内の部門ごと、個人ごとにフォルダを分けた例です。
- 全社員用に「All」フォルダを「共通フォルダ」に設定します。各部門用に「Somu」フォルダ、「Eigyo」フォルダを、各部門の社員の「ユーザー用フォルダ」に設定します。
- 各社員用のフォルダを設定します。

```
C:¥
└All（全社員用共通フォルダ）.....共通フォルダとして設定する
  ├Somu（総務専用フォルダ）.....総務部門全員にフォルダ設定する
  │  ├── Ito（伊藤さん用フォルダ）.....ユーザーごとにフォルダ設定する
  │  ├── Suzuki（鈴木さん用フォルダ）.....ユーザーごとにフォルダ設定する
  │  └── XX（XXさん用フォルダ）.....ユーザーごとにフォルダ設定する
  └Eigyo（営業専用フォルダ）.....営業部門全員にフォルダ設定する
     ├── Aida（相田さん用フォルダ）.....ユーザーごとにフォルダ設定する
     ├── Koide（小出さん用フォルダ）.....ユーザーごとにフォルダ設定する
     └── XX（XXさん用フォルダ）.....ユーザーごとにフォルダ設定する
```

共通フォルダは、メインサーバおよびユーザーが読み / 書きできるアクセス権を設定しておく必要があります。以下の操作は、共通フォルダを作成するファイルサーバ上で行ってください。

1 **エクスプローラなどを起動して、ファイルサーバ上に新規フォルダを作成します。**
新規フォルダを作成するドライブ（ハードディスク）をクリックし、［ファイル］メニューから［新規作成］－［フォルダ］を選びます。

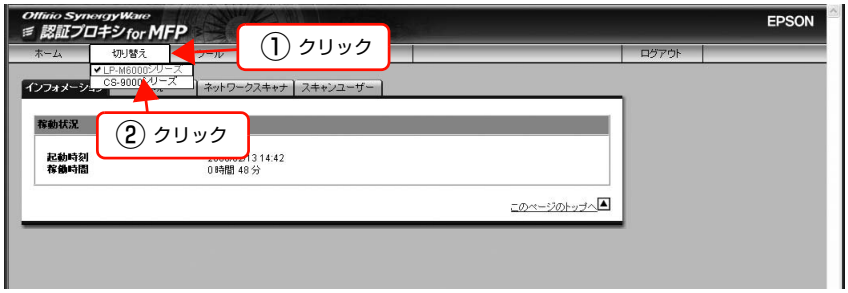
2 **新しいフォルダが作成されますので、名称を入力します。**

3 **フォルダを右クリックし、［共有］または［共有とセキュリティ］を選びます。**

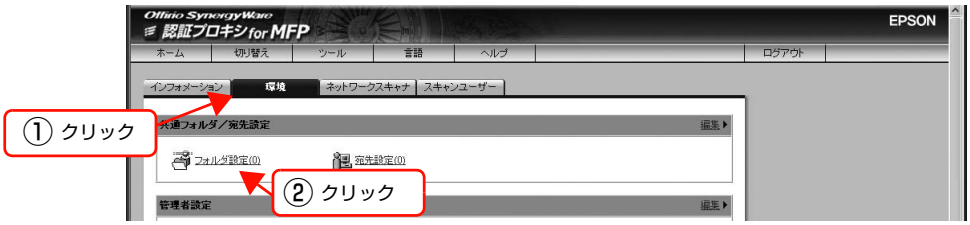
4 **表示される画面で、共有とアクセス権の設定を行います。**
サービス起動アカウントとスキャンデータを参照するユーザーに対して、読み / 書き / 変更のアクセス権を設定してください。

5 **［OK］をクリックして画面を閉じます。**

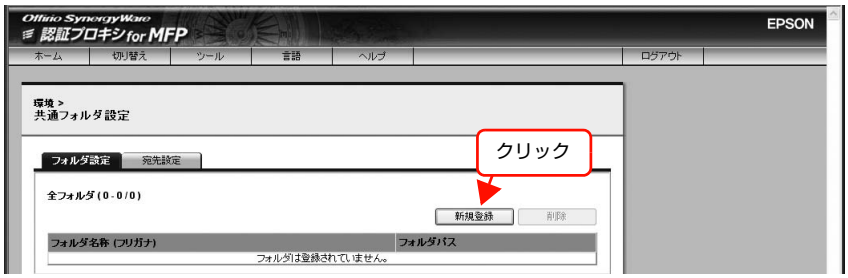
6 **認証プロキシ for MFP の管理者画面で、［切り替え］－［機種名］をクリックします。**
以降は LP-M6000 シリーズを例に説明します。



7 ［環境］－［フォルダ設定］の順にクリックします。

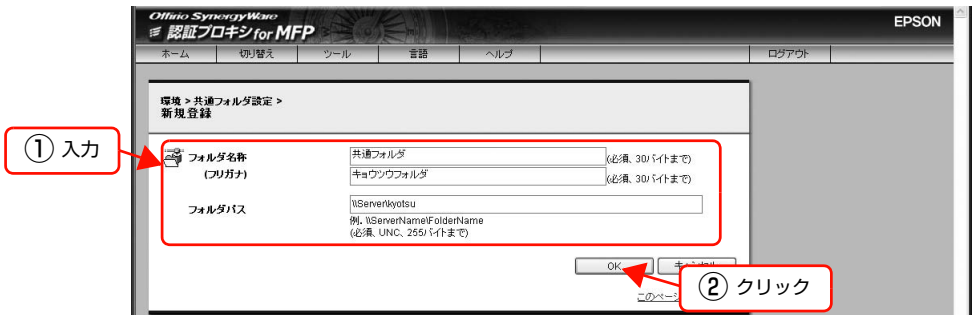


8 ［新規登録］をクリックします。



9 フォルダ名称とフォルダパスを入力して［OK］をクリックします。

別の共通フォルダを設定するには、手順 9 ～ 10 を繰り返します。



項目	説明
フォルダ名称	共通フォルダ名称を入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
（フリガナ）	共通フォルダ名称のフリガナを入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
フォルダパス	共通フォルダの場所を示すパスを入力します。必ず入力してください。 半角 255 文字まで入力できます。書式）\\ServerName\FolderName

参考
- 共通フォルダは 10 件まで設定できます。
- 共通フォルダを設定しない場合、スキャンした画像データはインストール時に設定した共有イメージフォルダに保存されます。
- 設定した共通フォルダを変更・削除する方法は、［ヘルプ］－［オンラインガイド］を参照してください。
  ☞ 本書 57 ページ「オンラインガイドの見方」

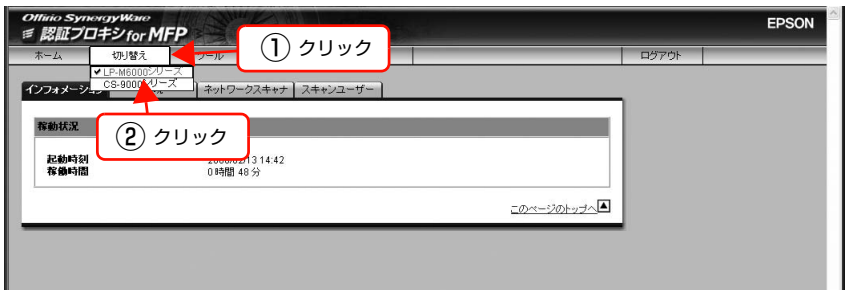
以上で終了です。

共通宛先の登録

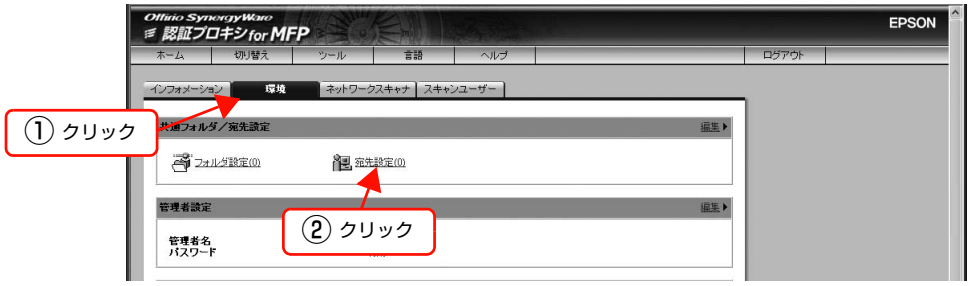
メール機能を使う場合に設定します。よく使うメールアドレスは共通宛先として登録しておくと、ユーザーごとに設定する必要がないため便利です。すべてのユーザーが利用できるメールアドレスを共通宛先として設定します。

1 **［切り替え］－［機種名］をクリックします。**

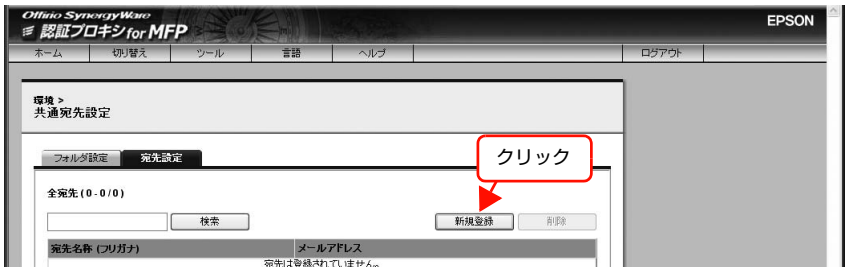
以降は LP-M6000 シリーズを例に説明します。



2 **［環境］－［宛先設定］の順にクリックします。**

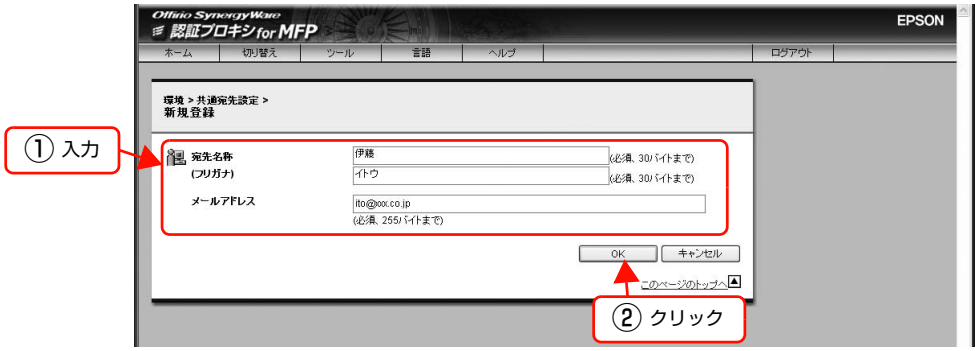


3 **［新規登録］をクリックします。**



4 宛先名称、フリガナ、メールアドレスを入力して［OK］をクリックします。

別の共通宛先を設定するには、手順 4 ～ 5 を繰り返します。



項目	説明
宛先名称	共通宛先名称を入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
（フリガナ）	共通宛先名称のフリガナを入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
メールアドレス	メールアドレスを入力します。必ず入力してください。 半角 255 文字まで入力できます。

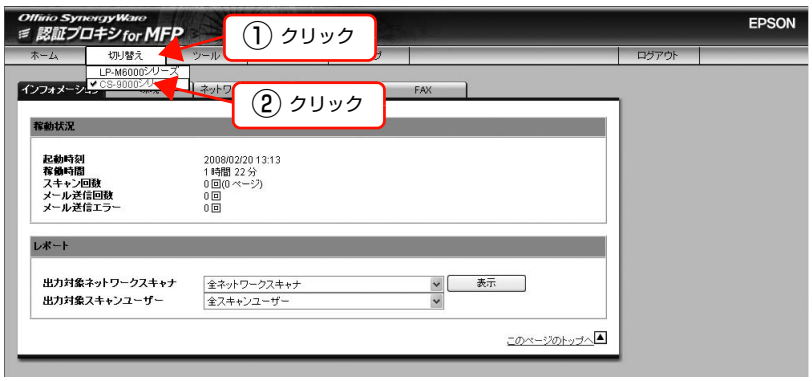
参考
- 共通宛先は 100 件まで登録できます。
- 設定した共通宛先を変更・削除する方法は、［ヘルプ］－［オンラインガイド］を参照してください。
  ☞ 本書 57 ページ「オンラインガイドの見方」

以上で終了です。

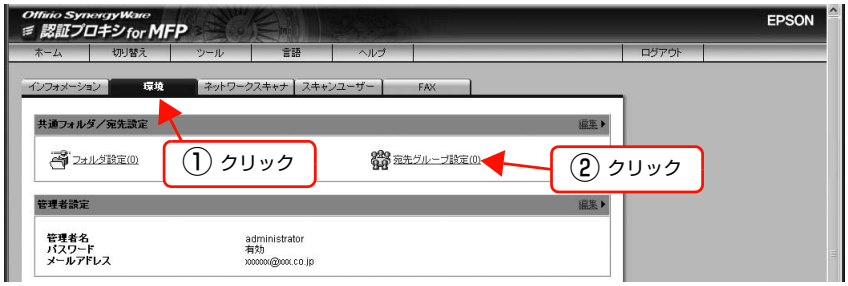
共通宛先グループの登録(CS-9000 シリーズ)

CS-9000 シリーズでメール機能を使う場合に設定します。1 つのグループに複数のメールアドレスを登録し、一括してメールを送信することができます。

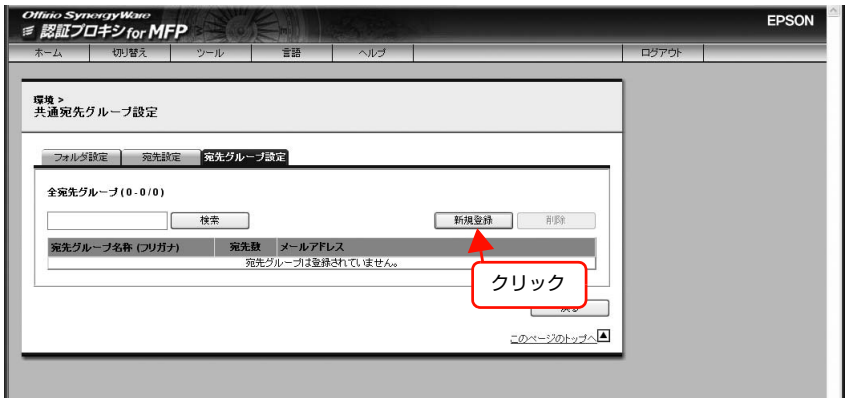
1 ［切り替え］－［CS-9000 シリーズ］をクリックします。



2 ［環境］－［宛先グループ設定］の順にクリックします。

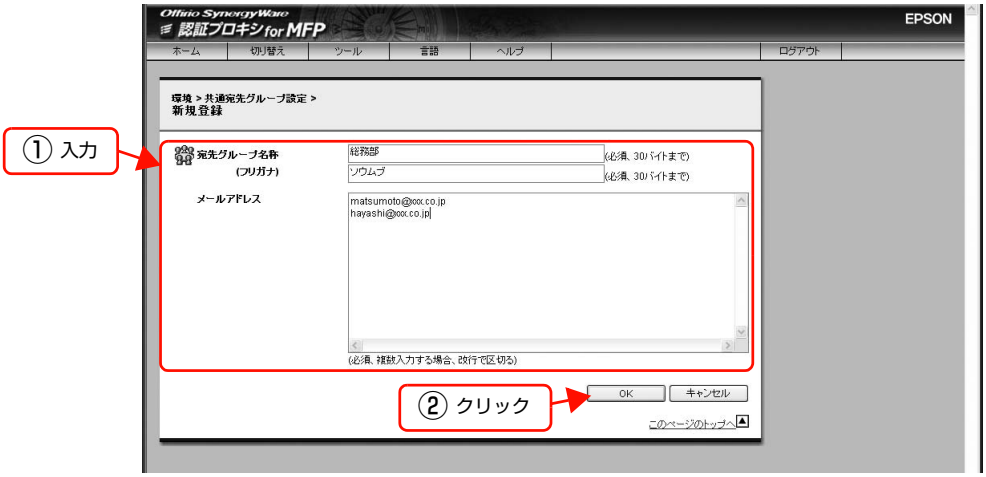


3 ［新規登録］をクリックします。



4 **宛先グループ名称、フリガナ、メールアドレスを入力し、[OK] をクリックします。**

別の共通宛先を設定するには、手順 2 ～ 3 を繰り返します。



項目	説明
宛先グループ名称	共通宛先グループ名称を入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
（フリガナ）	共通宛先グループ名称のフリガナを入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
メールアドレス	共通宛先グループに登録する宛先（メールアドレス）を入力します。 複数登録する場合は、改行で区切って入力します。1 グループ内に、50 件までの宛先を登録することができます。

参考
- 共通宛先グループは 50 件まで登録できます。
- 設定した宛先を変更 / 削除する方法は、[ヘルプ] － [オンラインガイド] を参照してください。
  ☞ 本書 57 ページ「オンラインガイドの見方」

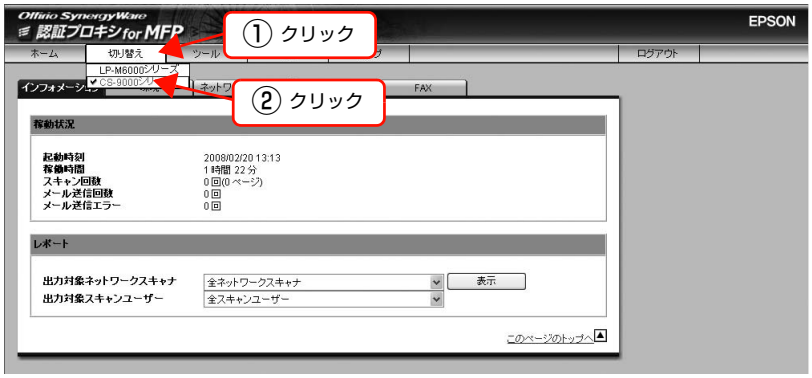
以上で終了です。

スキャンパラメータの初期設定(CS-9000 シリーズ)

CS-9000 シリーズ使用時のみの機能です。スキャンを行う際の初期値を設定します。

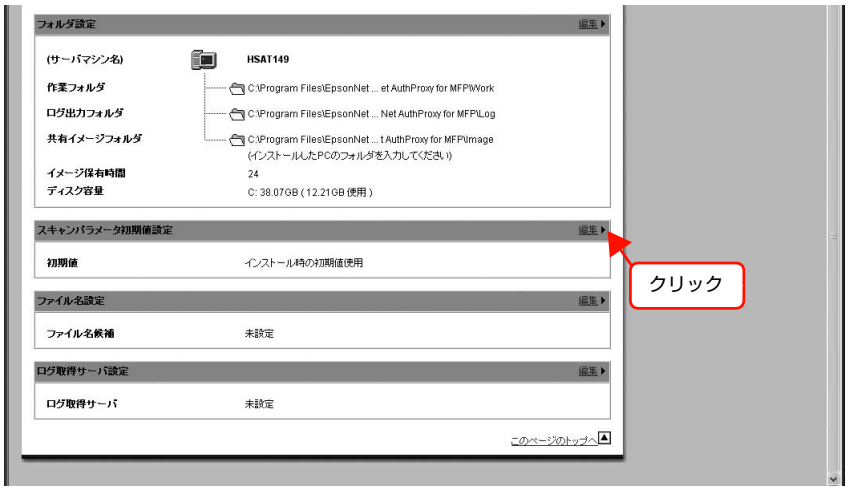
1 **[切り替え] − [CS-9000 シリーズ] をクリックします。**

以降は CS-9000 シリーズを例に説明します。



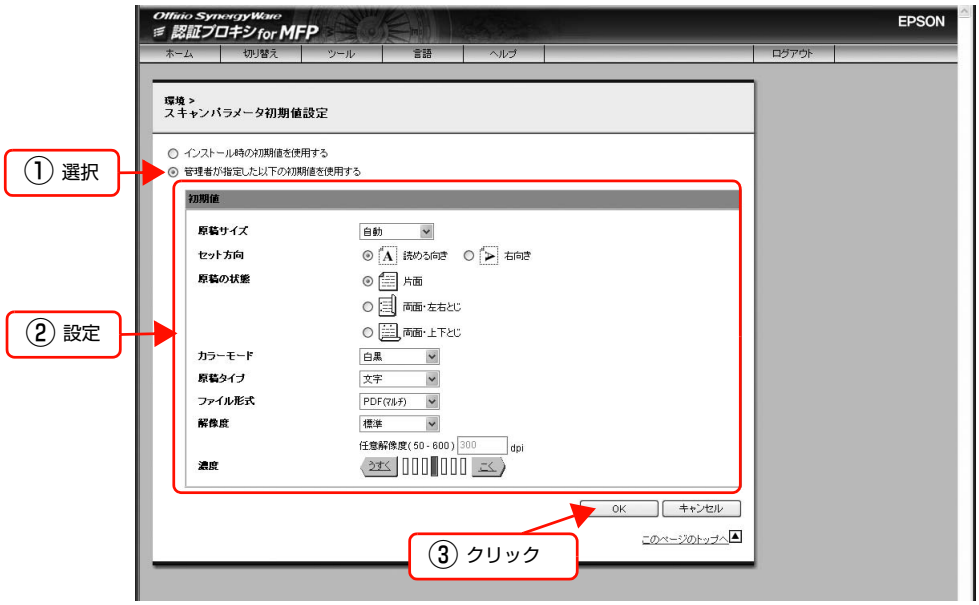
2 **[環境] タブをクリックします。**

3 **[スキャンパラメータ初期設定] の [編集] をクリックします。**



4 **［管理者が指定した以下の初期値を使用する］を選択し、［初期値］の各項目を設定して［OK］をクリックします。**

インストール時の初期値を使用するときは、［インストール時の初期値を使用する］を選択します。



項目	説明
インストール時の初期値を使用する	［初期値］の項目は無効となり編集できなくなります。
管理者が指定した以下の初期値を使用する	［初期値］の項目が編集可能となり、設定した値が有効になります。

項目		説明
初期値	原稿サイズ	原稿サイズを選択します。 • 自動（初期設定：原稿サイズを自動認識します。） • A3（横）、B4（横）、A4（縦）、A4（横）、A5（縦）、A5（横）、B5（縦）、B5（横）、はがき（縦）、はがき（横） • 名刺（縦）、名刺（横） • 写真（2L）（縦）、写真（2L）（横）、写真（L）（縦）、写真（L）（横）
	セット方向	原稿をセットする方向を選択します。 • 読める向き（初期設定） • 右向き
	原稿の状態	片面のみの原稿なのか、両面印刷された原稿なのかを選択します。 • 片面（初期設定） • 両面・左右とじ • 両面・上下とじ
	カラーモード	スキャン時の色を設定します。 • 白黒（初期設定：選択すると、ファイル形式の［JPEG］は選択できません。） • カラー • グレイ
	原稿タイプ	原稿の種類を選択します。 • 文字（初期設定） • 文字・写真 • 写真
	ファイル形式	ファイルの保存形式を選択します。 • PDF（マルチ）（初期設定） • PDF（シングル） • JPEG（選択すると、カラーモードの［白黒］を選択できません。） • JPEG（圧縮）（選択すると、カラーモードの［白黒］を選択できません。） • TIFF（マルチ） • TIFF（シングル）
	解像度	解像度を選択します。 • 標準（初期設定：300dpi） • ドラフト（200dpi） • 高精細（400dpi） • 任意設定（50 ～ 600dpi で設定します。）
	濃度	【うすく】、【こく】ボタンを使用して、濃度を「-3、-2，-1，0，+1，+2，+3」の 7 段階で調節します。
	プラグイン	オプションのプラグインをインストールした場合、使用するプラグインを選択します。
［OK］ボタン		設定した内容が登録されます。
［キャンセル］ボタン		入力した内容を取り消し、［環境］画面に戻ります。

以上で終了です。

ユーザー（クライアント）側のセットアップ

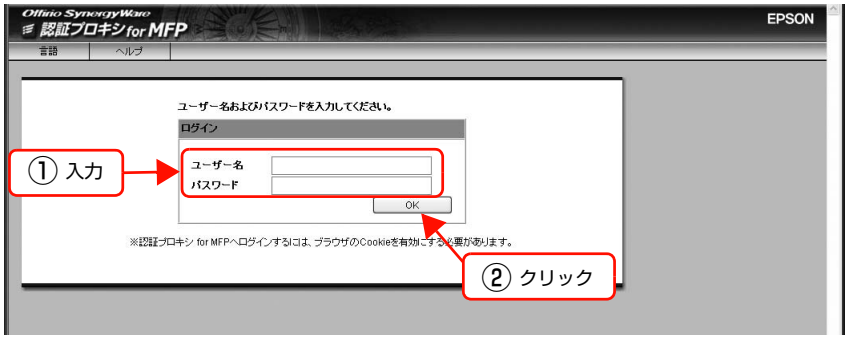
管理者から設定情報が連絡されたら、ユーザー（クライアント）は必要に応じて下記の設定作業を行います。
ただし、ユーザー（クライアント）が制限ユーザーとして登録されていると設定作業はできません。

ユーザー画面へのログイン

ユーザーの設定を行うときは、下記の方法でユーザー画面にログインしてください。

1 **Web ブラウザを起動し、下記の URL を入力します。**
書式）http:// メインサーバの IP アドレスまたはホスト名 :2969/
例）http://192.168.xxx.xxx:2969/

2 **管理者から連絡されたアカウント（ユーザー名）とパスワードを入力して［OK］をクリックします。**



以上で終了です。
続いて、認証プロキシ for MFP の各種設定をしてください。
☞ 本書 47 ページ「スキャン設定（CS-9000 シリーズ）」
☞ 本書 48 ページ「送信メール設定（CS-9000 シリーズ）」
☞ 本書 50 ページ「フォルダ設定」
☞ 本書 51 ページ「宛先設定」
☞ 本書 52 ページ「宛先グループ設定（CS-9000 シリーズ）」

スキャン設定（CS-9000 シリーズ）

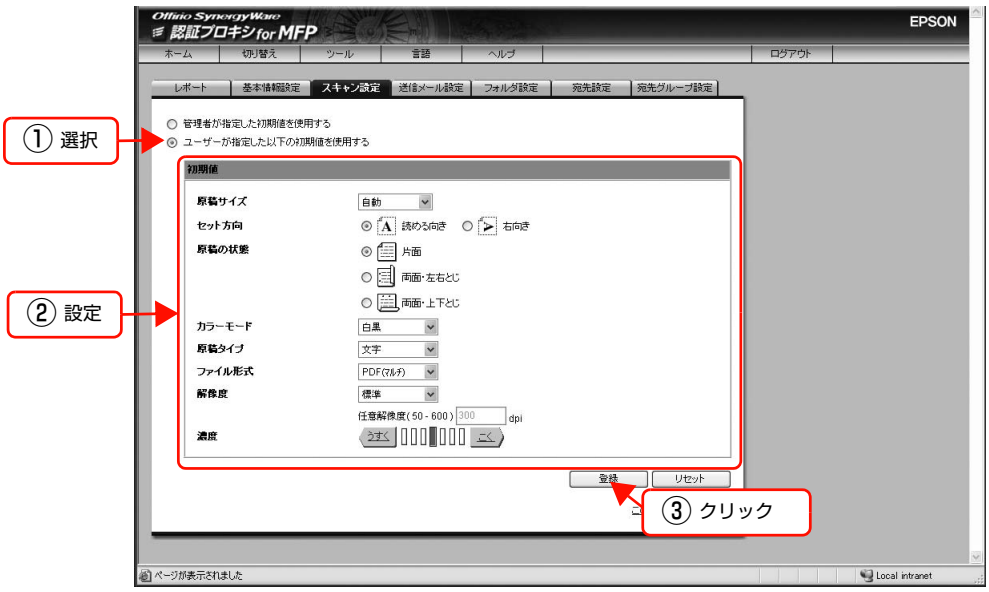
CS-9000 シリーズ使用時のみの機能です。スキャンを行う際の初期値を設定します。ただし、制限ユーザーは設定できません。

1 **［切り替え］－［CS-9000 シリーズ］をクリックします。**

2 **［スキャン設定］タブをクリックします。**

3 **［ユーザーが指定した以下の初期値を使用する］を選択し、［初期値］の各項目を設定して［登録］をクリックします。**

管理者が指定した初期値を使用するときは、［管理者が指定した初期値を使用する］を選択します。



項目	説明
管理者が指定した初期値を使用する	［初期値］の項目は無効となり編集できなくなります。
ユーザーが指定した以下の初期値を使用する	［初期値］の項目が編集可能となり、設定した値が有効になります。

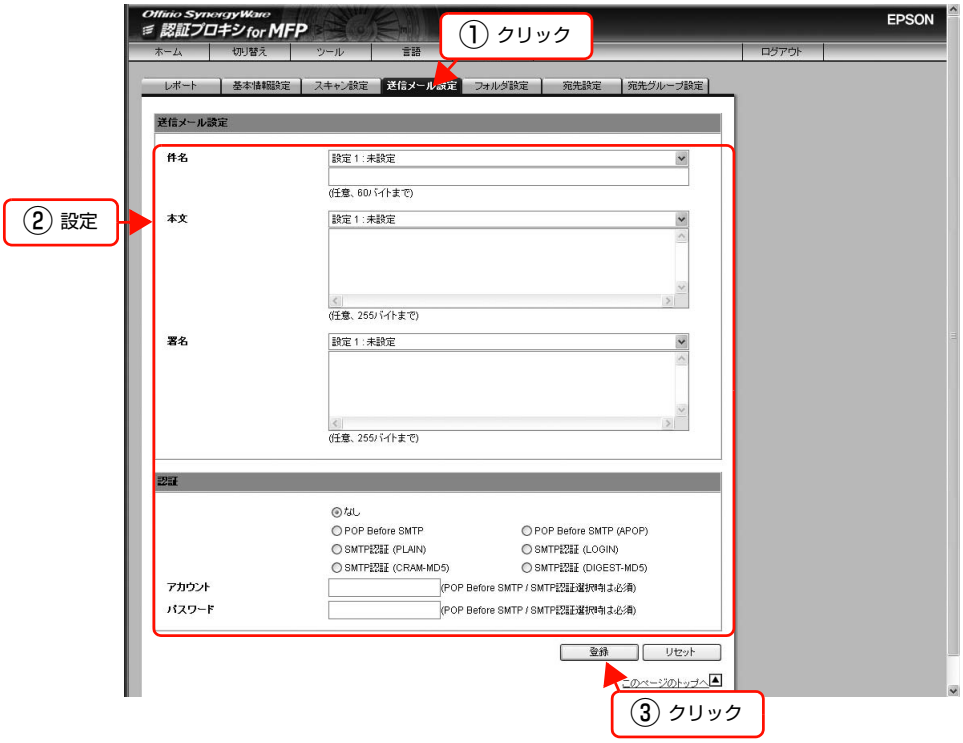
以上で終了です。

送信メール設定(CS-9000 シリーズ)

CS-9000シリーズでメール機能を使う場合に設定します。よく使用するメール件名や本文などの登録/変更ができます。

1 ［切り替え］－［CS-9000 シリーズ］をクリックします。

2 ［送信メール設定］タブをクリックし、次の画面で各項目を設定して［登録］をクリックします。



項目	説明
件名	よく使用するメールの件名を 5 件まで登録できます。入力エリア上部のドロップダウンリストから［設定 1 ～ 5］を選択し、件名を入力します。省略したときの件名は、「Scan Image」になります。半角 60 文字または全角 30 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
本文	よく使用するメールの本文を 5 件まで登録できます。入力エリア上部のドロップダウンリストから［設定 1 ～ 5］を選択し、本文を入力します。半角 255 文字または全角 127 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
署名	よく使用するメールの署名を 5 件まで登録できます。入力エリア上部のドロップダウンリストから［設定 1 ～ 5］を選択し、署名を入力します。半角 255 文字または全角 127 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。

項目	説明
認証	メール機能を使用するときに、ユーザー認証するかどうかを設定します。認証する場合は、認証方式を選択します。メールサーバの管理者にご確認ください。初期設定は［なし］です。 • なし • POP Before SMTP • POP Before SMTP（APOP） • SMTP 認証（PLAIN） • SMTP 認証（LOGIN） • SMTP 認証（CRAM-MD5） • SMTP 認証（DIGEST） メール送信時にユーザー認証する場合は、メールサーバのアカウントとパスワードも入力します。 アカウントは、半角 127 文字までの英数字が入力できます。半角カナは使用できません。パスワードの入力値は［＊］で表示されます。半角 127 文字までの英数字を入力できます。半角カナは使用できません。

以上で終了です。

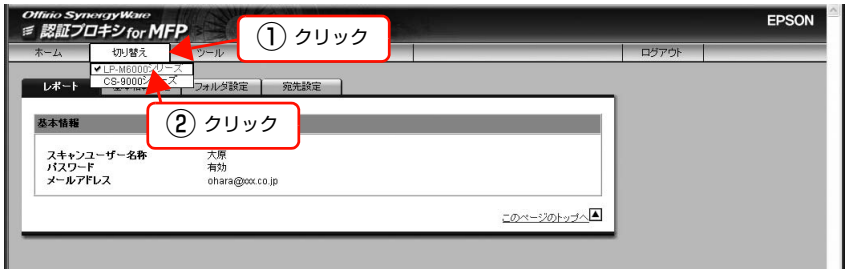
フォルダ設定

ファイル機能を使う場合に、スキャンした画像データを保存するフォルダが設定できます。なお、フォルダは共通フォルダとして設定しておく必要があります。

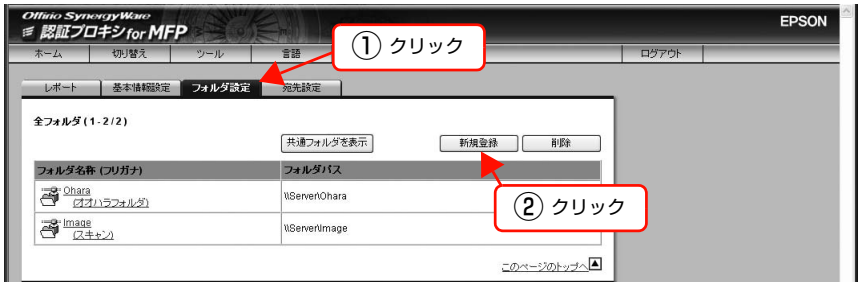
☞ 本書 37 ページ「共通フォルダの作成」

1 **［切り替え］－［機種名］をクリックします。**

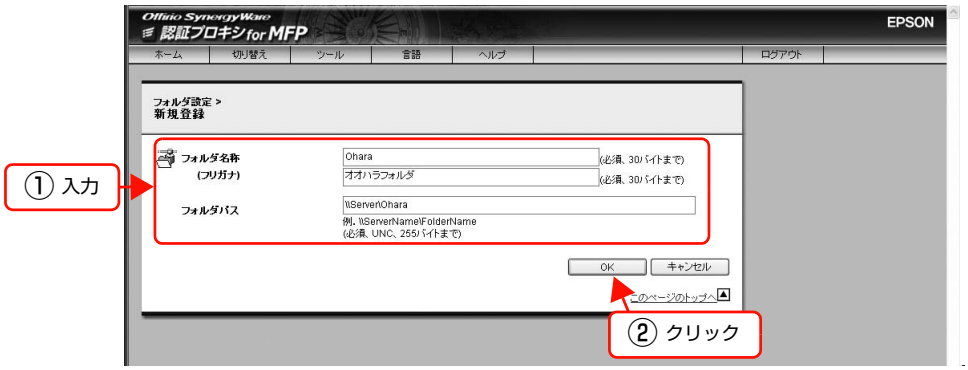
以降は LP-M6000 シリーズを例に説明します。



2 **［フォルダ設定］タブをクリックして［新規登録］をクリックします。**



3 **各項目を入力して［OK］をクリックします。**



項目	説明
フォルダ名称	フォルダ名称を入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
（フリガナ）	フォルダ名称のフリガナを入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
フォルダパス	フォルダの場所を示すパスを入力します。必ず入力してください。 255 文字まで入力できます。 書式）\\ServerName\FolderName

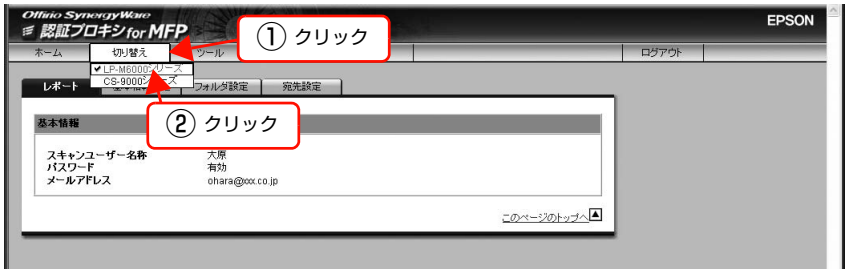
以上で終了です。

宛先設定

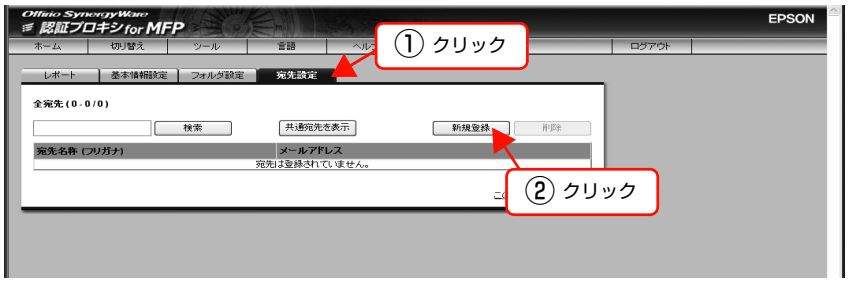
メール機能を使う場合に、メールの宛先が設定できます。

1 **［切り替え］－［機種名］をクリックします。**

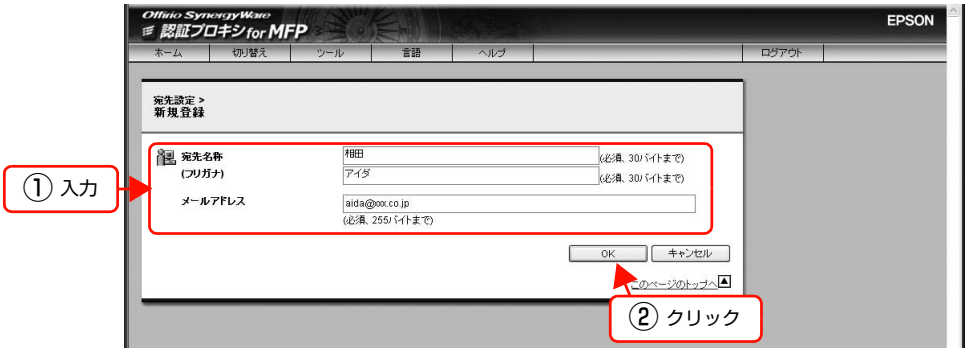
以降は LP-M6000 シリーズを例に説明します。



2 **［宛先設定］タブをクリックして［新規登録］をクリックします。**



3 **各項目を入力して［OK］をクリックします。**



項目	説明
宛先名称	宛先名称を入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
（フリガナ）	宛先名称のフリガナを入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
メールアドレス	メールアドレスを入力します。必ず入力してください。 半角 255 文字まで入力できます。

参考　メールアドレスは 99 件まで登録できます。

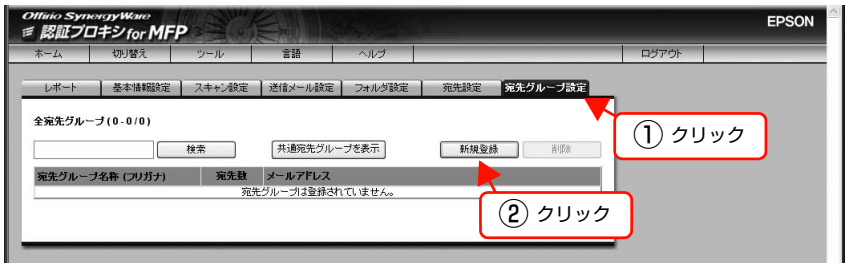
以上で終了です。

宛先グループ設定（CS-9000 シリーズ）

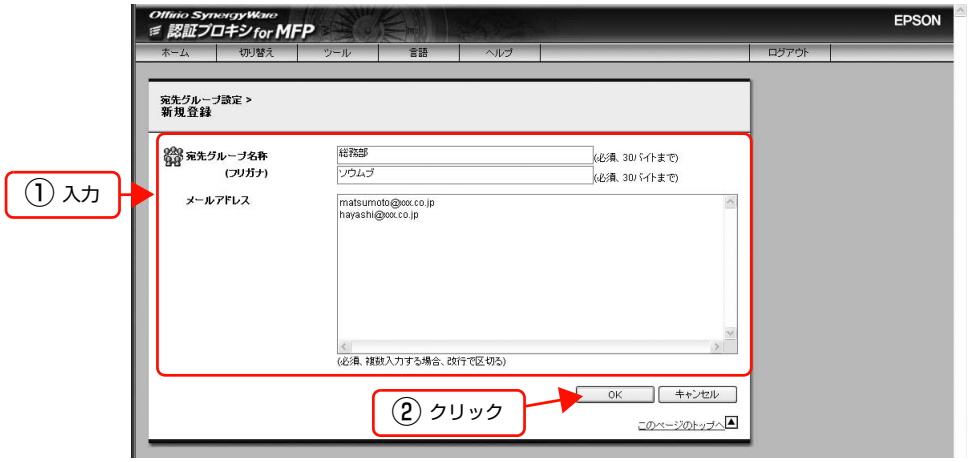
CS-9000 シリーズでメール機能を使う場合に設定します。メールの宛先グループ（1 つのグループに複数のメールアドレスを登録し、一括してメール送信できる）が設定できます。

1 ［切り替え］－［CS-9000 シリーズ］をクリックします。

2 ［宛先グループ設定］タブをクリックして［新規登録］をクリックします。



3 各項目を入力して［OK］をクリックします。



項目	説明
宛先グループ名称	宛先グループ名称を入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
（フリガナ）	宛先グループ名称のフリガナを入力します。 半角 30 文字または全角 15 文字まで入力できます。半角カナは使用できません。
メールアドレス	宛先グループに登録する宛先（メールアドレス）を入力します。 複数登録する場合は、改行で区切って入力します。1 グループ内に、50 件までの宛先を登録することができます。

参考　宛先グループは 50 件まで登録できます。

以上で終了です。

EpsonNet ScanComposerからのユーザー情報の移行

EpsonNet ScanComposer Ver1.0～3.1のユーザー情報をCSVファイルにエクスポートし、認証プロキシ for MFPにインポートします。

認証プロキシ for MFPをインストールする際にユーザー情報を移行した場合は、この作業は必要ありません。認証プロキシ for MFPがインストールされているコンピュータとは別のコンピュータからユーザー情報を移行したい場合などに行ってください。

1 **EpsonNet ScanComposerの管理者画面にログインし、以下のエクスポートを行います。**

- すべてのユーザーの基本情報をエクスポート
- ユーザーの設定をエクスポート

詳細は、EpsonNet ScanComposerのオンラインガイドを参照してください。

2 **認証プロキシ for MFPの管理者画面にログインし、エクスポートしたCSVファイルをインポートします。**

インポート方法は、以下を参照してください。

- すべてのユーザー情報をインポート
  ☞ 本書26ページ「CSVファイルから複数のユーザーを一括登録する」-「インポート方法」
- ユーザーの設定をインポート
  ☞ 本書31ページ「CSVファイルからユーザーの設定をインポートする」-「インポート方法」

以上で終了です。

EpsonNet ScanAgentからのユーザー情報の移行

EpsonNet ScanAgent Ver3.x のユーザー情報を CSV 形式のファイルにエクスポートし、認証プロキシ for MFP にインポートします。

移行できるユーザー情報は以下の通りです。

- アカウント（ユーザー名）
- ユーザー名称
  ファイル機能のユーザーの場合：EpsonNet ScanAgent のユーザー名
  メール機能のユーザーの場合：EpsonNet ScanAgent の送信者名称
- フリガナ
- パスワード
- メールアドレス
- スキャンフォルダ
- 宛先設定（個人）
- 宛先グループ設定

！重要

- EpsonNet ScanAgent から移行できるユーザー数は最大 500 ユーザーです。
- EpsonNet ScanAgent で非表示になっているユーザーは移行できません。
- EpsonNet ScanAgent のユーザー名の半角カタカナは、半角ローマ字に変換されます。また、30 文字を超えたユーザー名の 31 文字以降の文字は削除されます。

1 **エージェントコンピュータ（EpsonNet ScanAgent がインストールされているコンピュータ）を起動します。**

EpsonNet ScanAgent を起動できるユーザーアカウントでログオンしてください。

参考

EpsonNet ScanAgent ユーザ設定エクスポートユーティリティは、EpsonNet ScanAgent で使用している以下のフォルダから情報を読み取ります。各フォルダがネットワーク共有できる状態であることを確認してください。

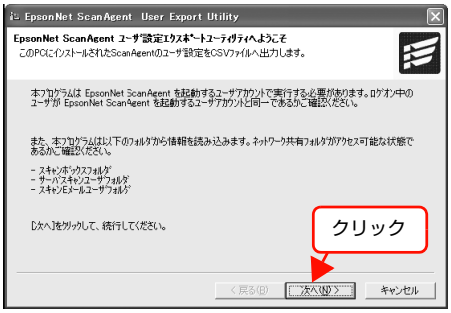
- スキャンボックスフォルダ
- サーバスキャンユーザーフォルダ
- スキャン E メールユーザーフォルダ

2 **エージェントコンピュータの CD-ROM ドライブに本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。**

以下の画面が表示されます。［×］をクリックしてください。

3 **Windows の［マイコンピュータ］-［CD-ROM ドライブ］から、［APPS］-［AuthProxy for MFP］の順にフォルダを開き、［UserExport.exe］をダブルクリックします。**

4 ［次へ］をクリックします。

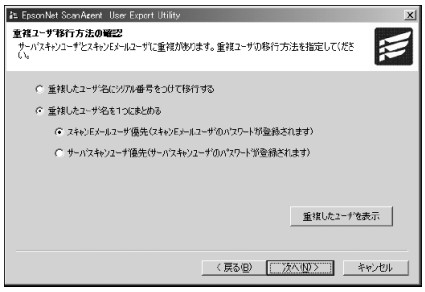


5 以降は、画面の指示に従って操作を進めてください。

参考

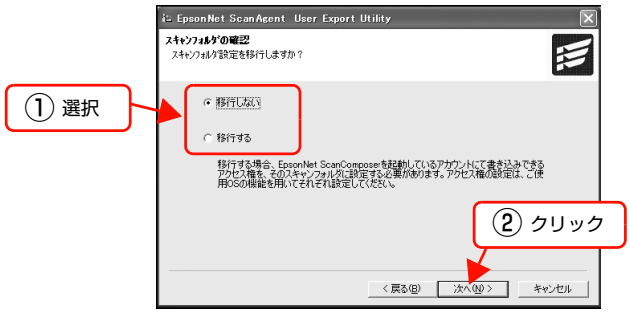
- スキャンボックスフォルダ（スキャナホームフォルダ）、サーバスキャンユーザーフォルダ、メール機能ユーザーフォルダがアクセスできないとき、以下の画面が表示されます。ネットワーク共有の設定を行ってから［次へ］をクリックしてください。

- サーバスキャンユーザーとメール機能ユーザーが重複しているとき、以下の画面が表示されます。重複しているユーザーの移行方法を選択して、［次へ］をクリックしてください。

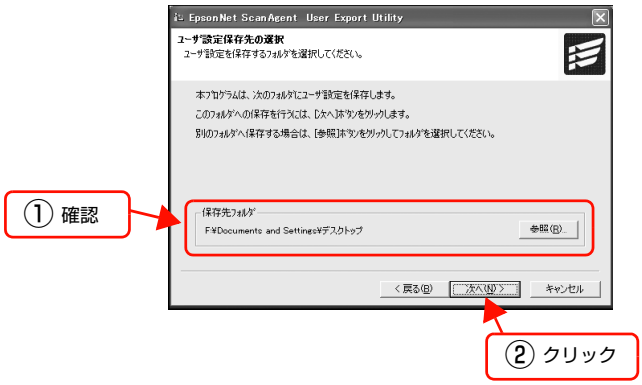


6 サーバスキャンユーザーが登録されている場合のみ以下の画面が表示されます。サーバスキャンユーザーフォルダの移行方法を選択して、［次へ］をクリックします。

サーバスキャンユーザーが登録されていない場合は、7 へ進んでください。

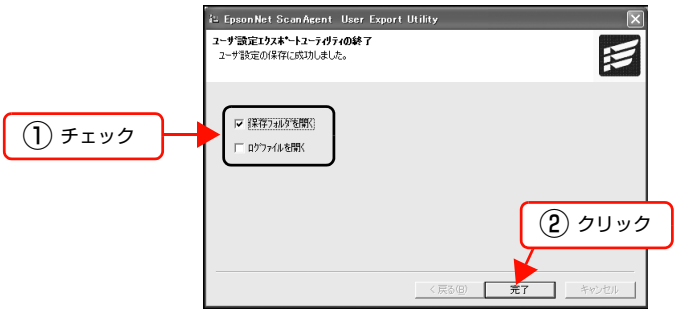


7 **ユーザー情報の CSV ファイルを保存するフォルダを確認し、[次へ] をクリックします。**



8 **必要に応じてチェックボックスをチェックして、[完了] をクリックします。**

項目	説明
保存フォルダを開く	CSV ファイルを保存したフォルダ内が表示されます。
ログファイルを開く	移行処理のログが表示されます。



9 **CSV ファイルを認証プロキシ for MFP にインポートします。**

- scanuser.csv（すべてのユーザーの基礎情報）は、以下の「インポート方法」の説明を参照してインポートしてください。
  ☞ 本書 26 ページ「CSV ファイルから複数のユーザーを一括登録する」
- アカウント .csv（各ユーザーの設定情報）は、以下の「インポート方法」の説明を参照してインポートしてください。
  ☞ 本書 31 ページ「CSV ファイルからユーザーの設定をインポートする」

以上で終了です。

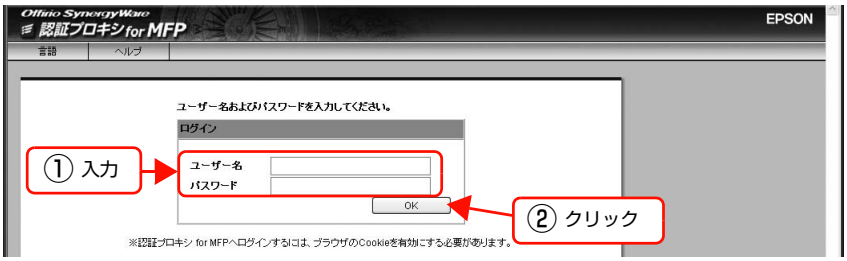
オンラインガイドの見方

認証プロキシ for MFP オンラインガイドでは、各設定項目の詳細を説明しています。

スタートメニューから表示

1 メインサーバで、[スタート] − [プログラム]（または [すべてのプログラム]）− [EpsonNet] − [Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP] − [Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP オンラインガイド] をクリックします。

2 ユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

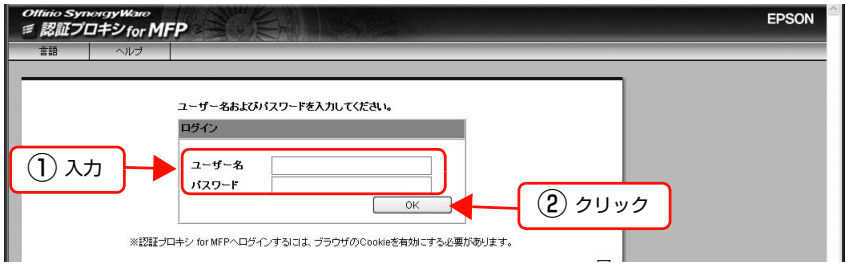


オンラインガイドが表示されます。

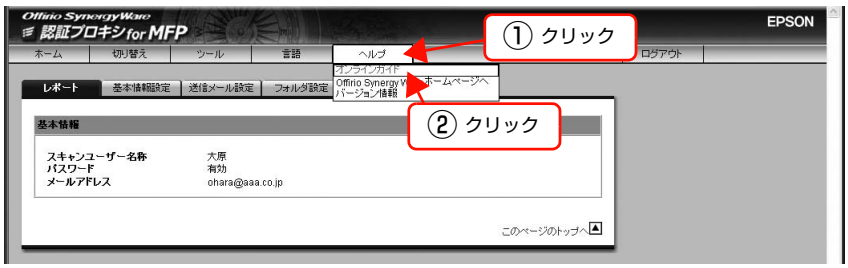
Web ブラウザから表示

1 Web ブラウザを起動し、下記の URL を入力します。
書式）http:// メインサーバの IP アドレスまたはホスト名 :2969/
例）http://192.168.xxx.xxx:2969/

2 管理者またはユーザーの、ユーザー名とパスワードを入力して [OK] をクリックします。



3 [ヘルプ] − [オンラインガイド] をクリックします。



オンラインガイドが表示されます。

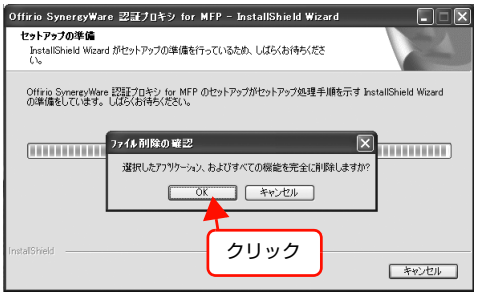
認証プロキシ for MFP のアンインストール

メインサーバから、認証プロキシ for MFP をアンインストール（削除）する方法を説明します。

1 **認証プロキシ for MFP を起動している場合は、終了します。**

2 **［スタート］－［プログラム］（または［すべてのプログラム］）－［EpsonNet］－［Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP］－［Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP のアンインストール］をクリックします。**

3 **下記の画面が表示されたら［OK］をクリックします。**



以上で終了です。